

令和7年 土木企業立地推進委員会 閉会中委員会

令和7年市町村要望及び対応状況等資料

令和7年8月7日

土 木 部

令和7年市町村要望 第1順位事項一覧

説明	市町村	頁	第1順位要望	担当課	事務所
1 ○	水戸市	3	都市計画道路中大野中河内線の整備	道路建設課	水戸
2	日立市	5	一般国道245号(久慈大橋、日立港区北拡幅事業)の早期完成	道路建設課	高萩
3	土浦市	7	県道土浦港線(都市計画道路荒川沖木田余線)の整備促進	道路建設課	土浦
4 ○	古河市	9	一級河川女沼川の整備促進	河川課	境
5 ○	石岡市	11	一般県道飯岡石岡線バイパスの整備促進(幸町・田島下線含む)	道路建設課	土浦
6	結城市	13	一級河川田川改修の整備促進	河川課	筑西
7	龍ヶ崎市	15	牛久沼を含む谷田川下流全域における堤防嵩上げや再整備の実施	河川課	竜ヶ崎
8 ○	下妻市	17	国道125号(下妻・八千代バイパス)の早期着工	道路建設課	常総
9	常総市	19	鬼怒川ふれあい道路の事業化	道路建設課	常総
10	常陸太田市	21	国道293号常陸太田東バイパスの整備促進	道路建設課	常陸太田
11 ○	高萩市	23	2市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線(3・5・9)整備事業の促進	道路建設課	高萩
12 ○	北茨城市	25	一般県道高萩塙線(2市連絡幹線道路)の整備促進	道路建設課	高萩
13 ○	笠間市	27	一般県道稲田友部線の整備促進(現道拡幅(歩道整備)・バイパス整備)	道路建設課・道路維持課	水戸
14	取手市	29	一級河川相野谷川改修事業の早期完成	河川課	竜ヶ崎
15	牛久市	31	国道408号歩道狭小箇所の拡幅整備促進	道路維持課	竜ヶ崎
16 ○	つくば市	33	一般国道125号バイパスの整備促進	道路建設課	土浦
17	ひたちなか市	35	一級河川中丸川河川改修の促進	河川課	常陸大宮
18	鹿嶋市	37	主要地方道茨城鹿島線(都市計画道路宮中佐田線)の早期完成及び延伸計画の実現	道路建設課	潮来
19	潮来市	39	一級河川前川の景観・環境・水質浄化に配慮した河川改修の整備促進	河川課	潮来
20	守谷市	41	都市軸道路(野田牛久線)利根川渡河部の整備促進	道路建設課	竜ヶ崎
21	常陸大宮市	43	国道123号の整備及び那珂川大橋架替の促進	道路建設課	常陸大宮
22 ○	那珂市	45	国道118号の4車線化事業の促進	道路建設課	常陸大宮
23	筑西市	47	主要地方道筑西つくば線バイパスの整備促進	道路建設課	筑西
24	坂東市	49	国道354号岩井バイパスの早期4車線化及び主要地方道結城坂東線バイパス交差点の早期立体交差化	道路建設課	境
25	稲敷市	51	国道125号バイパスの整備促進(桜川・東地区)	道路建設課	竜ヶ崎
26	かすみがうら市	53	一般県道牛渡馬場山土浦線の歩道整備促進	道路維持課	土浦
27	桜川市	55	一般県道東山田岩瀬線整備事業促進	道路建設課	筑西
28 ○	神栖市	57	県道深芝浜波崎線拡幅整備(波崎消防署付近)	道路建設課・道路維持課	潮来
29	行方市	59	国道355号バイパスの整備促進	道路建設課	鉾田
30	鉾田市	61	都市計画道路当間韮負線及び主要地方道水戸鉾田佐原線の整備促進	道路建設課	鉾田
31	つくばみらい市	63	主要地方道つくば野田線の整備促進	道路建設課	土浦
32	小美玉市	65	主要地方道玉里水戸線バイパスの整備促進	道路建設課	水戸
33	茨城町	67	主要地方道大洗友部線(小鶴～越安)の整備促進	道路建設課	水戸
34	大洗町	69	都市計画道路吉沼磯浜線の早期事業化	道路建設課	水戸
35 ○	城里町	71	国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進	道路建設課	水戸
36	東海村	73	「国道245号久慈大橋」の4車線化に向けた整備促進	道路建設課	常陸大宮
37	大子町	75	一級河川久慈川の改修促進	河川課	大子
38	美浦村	77	国道125号バイパスの整備促進	道路建設課	竜ヶ崎
39	阿見町	79	主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパス(都市計画道路阿見・小池線)の整備促進	道路建設課	竜ヶ崎
40	河内町	81	主要地方道取手東線生板バイパス整備促進	道路建設課	竜ヶ崎
41	八千代町	83	国道125号(下妻・八千代バイパス)の早期着工	道路建設課	常総
42	五霞町	85	一般県道西関宿栗橋線の歩道整備	道路維持課	境
43	境町	88	国道354号境岩井バイパス及び古河境バイパスの整備促進	道路建設課	境
44	利根町	90	一級河川新利根川河川改修の整備促進	河川課	竜ヶ崎

※各市町村の要望書は令和7年6月1日時点のものです。

【要望の種類】

- 道路の整備(36市町村)
- 河川の整備(8市町)

要 望 書

水戸市長 高 橋 靖

1 要望事項

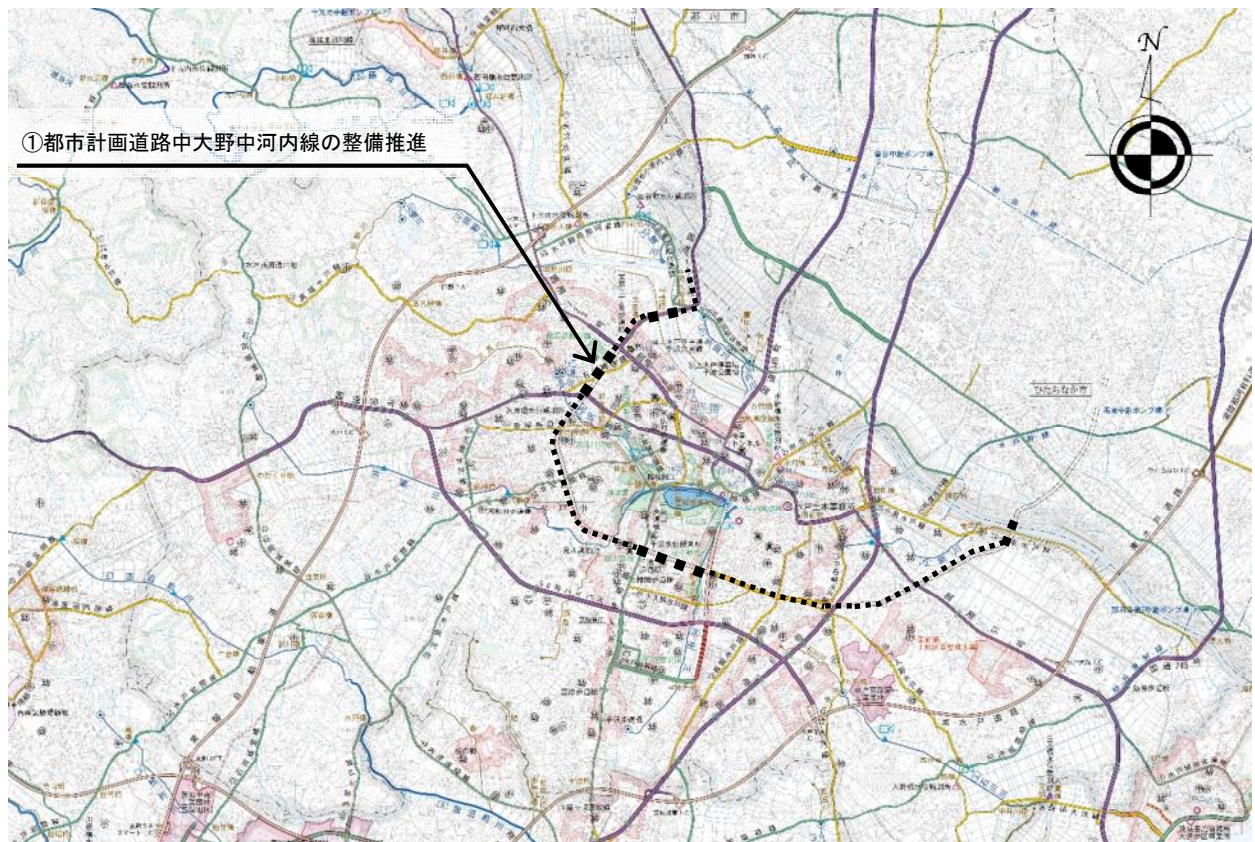
都市計画道路 3・3・2 号中大野中河内線

2 要望主旨

水戸市の道路体系は、都市核に主要な国県道が集中しているため交通混雑が発生し、その解消を図る道路として水戸・勝田環状道路の一部である都市計画道路 3・3・2 号中大野中河内線を整備し、交通の分散化が急務となっております。また、水戸市、ひたちなか市及び那珂市を広域的に連絡する路線でもあり、地域間交通体系の強化をはじめ、いばらき県央地域連携中枢都市圏の医療・福祉・観光など、様々な分野での活性化に寄与する非常に重要な性格を有しております。

このような中、茨城県と水戸市では役割分担し、連携を図りながら整備を進めているところでありますので、引き続き、都市計画道路 3・3・2 号中大野中河内線の早期完成に向け一層の整備推進が図られますよう要望いたします。

3 位置図



■■■■ : 要望箇所

..... : 中大野中河内線

市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	水戸市
要望事項	都市計画道路中大野中河内線の整備
現況	本路線は、水戸市南部を東西に連絡する幹線道路であり、中心市街地の渋滞緩和や交通安全の確保、隣接する都市間の連絡強化等、多大な効果が期待される路線であり、県と市で役割分担して整備を進めている。
対応状況	【概要】 全体延長 15.9 km (県 8.6 km、市 7.3 km) 整備完了延長 5.1km (県 4.0 km、市 1.1 km) 【進捗状況】 ・酒門工区 延長 997m 幅員 25m (4 車線) 全体事業費 約 3,900 百万円 進捗状況 西側 約 800m R4.2 供用 東側 約 200m R7.2 供用 東側の開通と併せて、酒門六差路が四差路化 ・西原工区 延長 1,200m 幅員 25m (4 車線) R 7 事業費 20 百万円 (測量)
今後の対応・課題等	・酒門工区に引き続き、西原工区の整備を進めていく。 ・整備にあたっては、地元調整や用地取得等について、市と連携して進めていく。 ・未着手の区間については、周辺道路の整備や交通状況を勘案しながら検討していく。

1 要望事項

一般国道245号(久慈大橋、日立港区北拡幅事業)の早期完成について

2 要望主旨

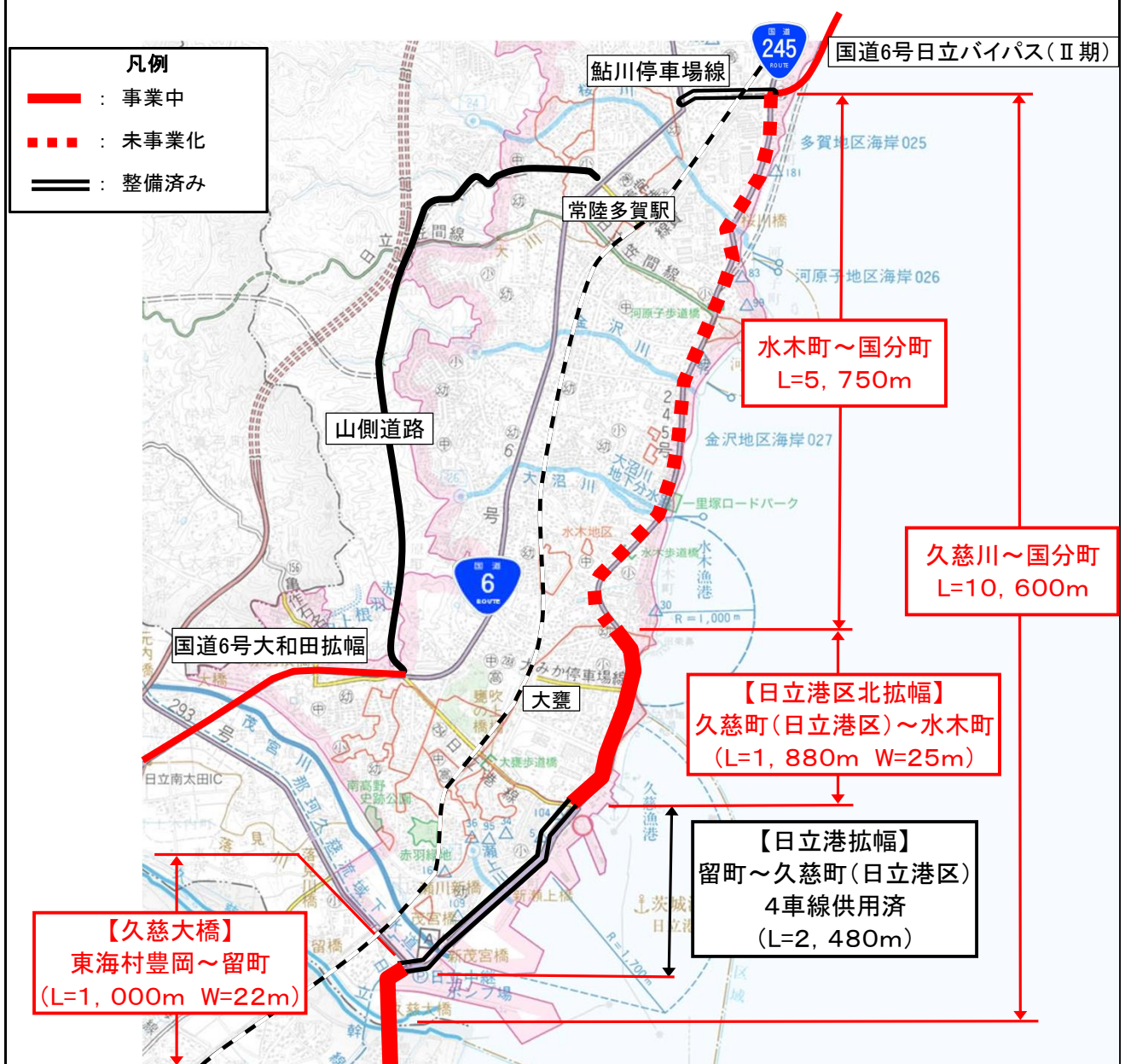
国道245号は、日立市街地と県央地域の海岸部を連絡し、重要物流道路に指定されており、沿道に立地している大規模工場や茨城港日立港区等の物流を担っています。また、第一次緊急輸送道路に指定されており、本市における物流網や災害時における避難道路として、主要な道路ネットワークを形成しています。さらに観光面でも、周辺に海水浴場、道の駅日立おさかなセンターや、久慈サンピア日立もあることから、非常に重要な幹線道路であります。

日立市域においては、留町～日立港区間の延長約2.5kmについて、平成23年度に4車線化の事業が完了しましたが、ほかの区間については2車線であるため、各所で慢性的な交通渋滞を招いていることから、市民生活や産業活動に大きな障害となっています。

久慈大橋については、東海村豊岡～本市留町の延長約1.0km区間の4車線化へ令和元年度から事業化されており、日立港区北拡幅事業については、久慈町～水木町までの延長約1.9kmを4車線化するものであり、平成27年度に事業化されました。

これらの事業は、渋滞緩和や茨城港へのアクセス向上、物流効率化等を目的として整備するもので、隣接自治体と一連の道路ネットワークを構築し、茨城港常陸那珂港区及び日立港区へのアクセス向上や物流の効率化を図り、産業の振興や沿線地域の活性化に大いに寄与するものであります。

以上のことから諸事情を御賢察いただき、早期完成に向けた計画的な整備につきまして要望いたします。



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	日立市																
要望事項	一般国道２４５号（久慈大橋、日立港区北拡幅事業）の早期完成																
現況	本路線は、県央・県北地域の沿岸部を南北に縦断する幹線道路であり、観光、産業の両面において地域振興を支える重要な路線である。 しかし、交通量が非常に多く慢性的な交通渋滞が発生しているため、円滑な交通の確保に向けた整備事業を進めている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>事業名</td><td>①一般国道２４５号 久慈大橋</td><td>②一般国道２４５号 日立港区北拡幅</td></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>東海村豊岡～日立市留町</td><td>日立市久慈町～水木町</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=1,000m W=22m（４車線）</td><td>L=1,880m W=25m（４車線）</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>R１年度～</td><td>H27年度～</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約100億円</td><td>約67億円</td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 一般国道２４５号久慈大橋 R５まで 事業費 568 百万円（進捗率 6%） 路線測量、地質調査、橋梁詳細設計、道路詳細設計、用地取得 R６ 事業費 274 百万円（進捗率 8%）用地取得、工事用道路工事 R７ 事業費 460 百万円（進捗率 13%）用地取得、橋梁下部工事 ② 一般国道２４５号日立港区北拡幅 R５まで 事業費 4,029 百万円（進捗率 60%） 測量設計、用地取得、道路改良工事 R６ 事業費 575 百万円（進捗率 69%）用地取得、道路改良工事 R７ 事業費 456 百万円（進捗率 76%）用地取得、道路改良工事		事業名	①一般国道２４５号 久慈大橋	②一般国道２４５号 日立港区北拡幅	箇所名	東海村豊岡～日立市留町	日立市久慈町～水木町	延長幅員	L=1,000m W=22m（４車線）	L=1,880m W=25m（４車線）	事業期間	R１年度～	H27年度～	事業費	約100億円	約67億円
事業名	①一般国道２４５号 久慈大橋	②一般国道２４５号 日立港区北拡幅															
箇所名	東海村豊岡～日立市留町	日立市久慈町～水木町															
延長幅員	L=1,000m W=22m（４車線）	L=1,880m W=25m（４車線）															
事業期間	R１年度～	H27年度～															
事業費	約100億円	約67億円															
今後の対応・課題等	① 一般国道２４５号久慈大橋 - 引き続き、用地取得を進めるとともに、今年度、橋梁下部工事に着手する。 ② 一般国道２４５号日立港区北拡幅 - 引き続き、用地取得及び道路改良工事を進める。																

要 望 書

土浦市長 安藤 真理子

1 要望事項

県道土浦港線の整備促進について
(都市計画道路荒川沖木田余線)

2 要望主旨

県道土浦港線のうち、土浦駅東駐車場前交差点から川口運動公園前交差点区間は、市道一級 11 号線と接続し、(都) 荒川沖木田余線として、土浦駅周辺の中心市街地の環状道路であるとともに、かすみがうら市方面や牛久市方面を連絡する重要な幹線道路となっております。

このうち、土浦駅東側にある港橋から牛久市方面は、都市計画幅員 25m の 4 車線で整備されております。また、本市で進めておりました、土浦協同病院と市街地のアクセス道路となる湖北一丁目から国道 354 号バイパスまでの 1.3km 区間についても、令和 5 年 12 月に 4 車線での整備が完了し、供用を開始しておりますが、港橋から湖北一丁目の 3 車線区間がボトルネックとなり、朝夕の通勤時間帯の交通渋滞が、慢性化しております。

残りの区間のうち、県道区間につきましては、現在 4 車線化事業を進めていただいているところですが、当該路線の現状や重要性をご賢察いただき、(都) 荒川沖木田余線の事業促進につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	土浦市
要望事項	県道土浦港線（都市計画道路荒川沖木田余線）の整備促進
現況	都市計画道路荒川沖木田余線は、土浦市と阿見町、牛久市の JR 常磐線沿線の各駅を中心とした市街地間を結ぶ都市軸道路であるとともに、国道 6 号を補完する重要な幹線道路であり、交通渋滞の緩和や地域住民の利便性の向上に効果が期待されることから、県と土浦市で役割分担をして事業を進めている。
対応状況	【概要】 都市計画道路 荒川沖木田余線 ・箇所名：土浦市川口地内 ・延長幅員：L=370m W=25m（4 車線） ・事業期間：令和 3 年度～ ・事業費：17 億円 【進捗状況】 R 5 まで 事業費：1,010 百万円（進捗率：59%） 調査、設計・測量、用地取得 R 6 事業費： 59 百万円（進捗率：63%） 用地取得 R 7 事業費： 136 百万円（進捗率：71%） 用地取得
今後の対応・課題等	・事業区間である土浦駅から北側区間 L=1,000m について、県と土浦市で一体的に整備を進める。 ・特に事業区間が土浦駅の周辺で既成市街地内であることから、地権者の理解を得て、速やかに用地取得を進めることが重要となっている。

要 望 書

古河市長 針 谷 力

1 要望事項

一級河川女沼川の整備促進

2 要望主旨

女沼川改修につきましては、平成3年度の事業採択以降、県道つくば古河線才塚橋下流側においては、河道の改修とともに、市道橋の架け替えや伏せ越し等の工事が進められております。

本河川は、上流部における開発に伴って雨水流出量が年々増加しており、大雨時には住宅地への被害が発生しております。

つきましては、災害を未然に防止する為、更なる整備推進及び予算の確保を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	古河市
要望事項	一級河川女沼川の整備促進
現況	女沼川は、利根川合流部の积水水門から国道354号下辺見橋までの5,500mについて、河川改修を進めている。
対応状況	・事業延長：5,500m ・全体事業費：9,551 百万円 ・これまで下流の「积水水門」から約 2,150m が完了 R 5 年度まで：工事、用地取得等 事業費 6,268 百万円 進捗率 65.6% R 6 年度：工事、用地取得等（R 5 補正含む） 事業費 515 百万円 進捗率 71.0% R 7 年度：工事、用地取得等（R 6 補正含む） 事業費 400 百万円 進捗率 75.2% (概略図)
今後の対応・課題等	・河川改修工事（橋梁架替え、伏越）の早期完成に努めるとともに、引き続き未整備区間の用地取得を進める。

要 望 書

石岡市長 谷 島 洋 司

1 要望事項

①一般県道飯岡石岡線バイパスの整備促進（幸町・田島下線を含む）について

2 要望主旨

一般県道飯岡石岡線バイパスは、国道6号と一般県道飯岡石岡線現道までの2.3kmを結ぶ主要幹線道路であり、一部区間は、国道6号バイパスのアクセス道路として都市計画決定されています。また、この付近は、国道6号バイパスの工事も着手されており、本市では、このバイパスを国道355号バイパス（恋瀬橋北交差点地先）と共に市街地の渋滞解消を図る重要な環状道路として位置付けています。

既に一部区間においては、改良工事が完成しておりますが、なお一層の事業促進を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	石岡市
要望事項	一般県道飯岡石岡線バイパスの整備促進（幸町・田島下線含む）
現況	本路線は、石岡市中心部とかすみがうら市を結ぶ幹線道路として、市街地の渋滞緩和や都市間の連携を担う重要な路線となっている。現道は、幅員が狭く、歩道も未整備のため、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。 また、本バイパスの一部区間は、国道６号千代田石岡バイパスへのアクセス道路として都市計画決定されており、国道６号バイパス整備とともに、市街地の緩和に資する道路となることから、本バイパスの整備により、地域住民の交通安全確保と地域間の連絡強化が図られる。
対応状況	【概要】 一般県道 飯岡石岡線 ・箇所名：石岡市中津川～国府 ・延長幅員：L=2,300m W=15m（２車線） ・事業期間：平成１８年度～ ・事業費：約２４億円 【進捗状況】 R５まで 事業費 １,９５６百万円（進捗率 ８２％） 用地取得、道路改良工事 R６ 事業費 ４４０百万円（進捗率 １００％） 道路改良工事 ※R６繰越予算にて、整備中
今後の対応・課題等	・全線開通に向けて、道路改良舗装工事を進めていく。

要 望 書

結城市長 小林 栄

1 要望事項

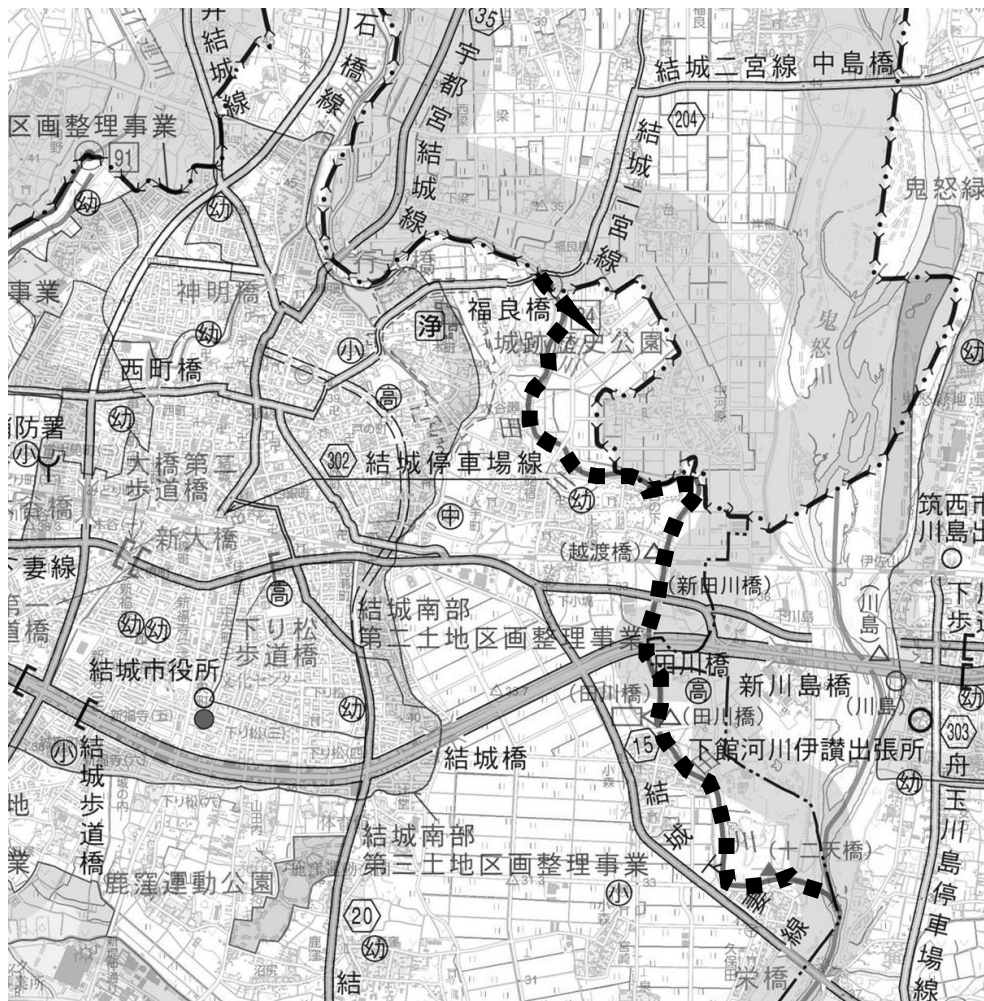
① 一級河川田川改修の整備促進

2 要望主旨

平成27年関東東北豪雨及び令和元年台風19号による記録的な大雨により、度重なる田川の氾濫に見舞われました。市内の各所で道路や農地が冠水したほか、住宅や工場など床下・床上浸水・工場操業停止など甚大な被害が生じました。

田川については、鬼怒川の合流点から福良橋までの約4.5kmの整備区間を茨城県が、利根川水系利根川圏域河川整備計画に基づき堤防整備を進めていただいておりますが、地域住民の安全及び資産を守るため、早期完成を要望します。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	結城市
要望事項	一級河川田川改修の整備促進
現況	田川は、鬼怒川合流部から県道結城二宮線福良橋までの 4,500m について、河川改修を進めている。
対応状況	- 事業延長 : 4,500m - 全体事業費 : 5,992 百万円 R 5 年度まで : 調査、設計、用地取得等 事業費 1,358 百万円 進捗率 22.7% R 6 年度 : 工事、用地取得等 (R 5 補正含む) 事業費 420 百万円 進捗率 29.7% R 7 年度 : 工事、用地取得等 (R 6 補正含む) 事業費 620 百万円 進捗率 40.0% (概略図)
今後の対応・課題等	国が実施する久保田水門工事とあわせて、水門付近の用地取得及び整備を優先的に進める。

要 望 書

龍ヶ崎市長 萩原 勇

1 要望事項

牛久沼を含む谷田川下流全域における堤防嵩上げや再整備の実施

2 要望主旨

本市では、2023 年 6 月に発生した大規模降雨災害により、谷田川の一部である牛久沼の河川堤防で越水が発生し、佐貫町周辺で浸水被害が発生しました。

この後、茨城県により設置された「牛久沼越水対策検討委員会」によれば、越水の原因は地盤沈下による堤防高の低下と結論付けられました。佐貫町周辺は住宅が密集する市街地であるとともに、国道 6 号や JR 常磐線など、本県の大動脈が走っています。また、昨年 4 月に発表された谷田川の洪水浸水想定区域図によれば、本市の南半分が浸水想定区域となるとともに、隣接する河内町や稲敷市などの広範囲に影響が及ぶと予測されました。

このため、昨今の気候変動の影響により発生確率の高まっている大規模降雨災害から住民のくらしを守り、安全・安心なまちづくりを推進するためにも、早急な整備を要望します。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	龍ヶ崎市										
要望事項	牛久沼を含む谷田川下流全域における堤防嵩上げや再整備の実施										
現況	令和5年6月の越水による浸水被害を受け「牛久沼越水対策検討委員会」を設置し、越水被害の発生要因や越水防止対策を、客観的データに基づき、検証してきた。 同委員会から、堤防の嵩上げや河川監視カメラの設置など、ハード・ソフトが一体となった越水防止対策に取り組むよう提言されたことを踏まえ、必要な対策を進めている。										
対応状況	・ 応急対策として、越水箇所をはじめ計画に対して堤防高が低い箇所への、大型土のうを設置済。 ・ ソフト対策として、周辺市や関係機関との水防連絡体制の強化に取り組むとともに、河川監視カメラ及び水位計を設置済。 ・ ハード対策として、堤防の嵩上げに向けた調査や設計、用地補償を実施。 ・ そのうち、龍ヶ崎市内の対策として、以下の内容を実施。 <table border="0"> <tr> <td>R5年度：大型土のう設置（応急対策）</td><td>事業費 118百万円</td></tr> <tr> <td>R6年度：河川監視カメラ設置（2基）</td><td>事業費 8百万円</td></tr> <tr> <td>水位計設置（1基）</td><td>事業費 18百万円</td></tr> <tr> <td>測量・設計等</td><td>事業費 468百万円</td></tr> <tr> <td>R7年度：調査・設計、用地補償</td><td>事業費 570百万円</td></tr> </table> （概略図）	R5年度：大型土のう設置（応急対策）	事業費 118百万円	R6年度：河川監視カメラ設置（2基）	事業費 8百万円	水位計設置（1基）	事業費 18百万円	測量・設計等	事業費 468百万円	R7年度：調査・設計、用地補償	事業費 570百万円
R5年度：大型土のう設置（応急対策）	事業費 118百万円										
R6年度：河川監視カメラ設置（2基）	事業費 8百万円										
水位計設置（1基）	事業費 18百万円										
測量・設計等	事業費 468百万円										
R7年度：調査・設計、用地補償	事業費 570百万円										
今後の対応・課題等	・ 堤防嵩上げについて設計がまとも次第、速やかに工事に着手する。										

要 望 書

下妻市長 菊池 博

1 要望事項

国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工について

2 要望趣旨

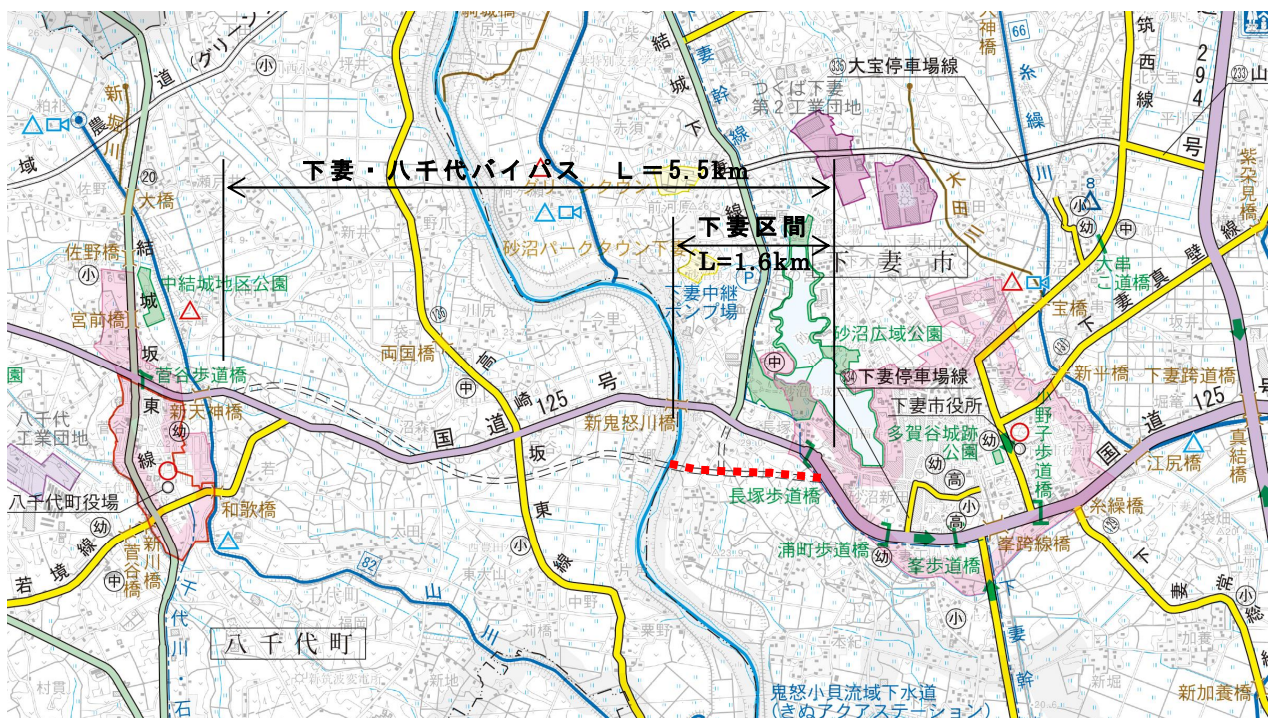
筑波研究学園都市と国道4号バイパスなどを結ぶ国道125号の整備につきましては、平成17年4月に堀籠地内の4車線化が完成し、高道祖から長塚三差路交差点までの区間が全線供用となっております。

さて、近年当路線には、大型商業施設などの進出もあり、平成27年度における交通量は、1日当たり17,357台で、そのうち4,741台と大型車の占める割合が多い中、日増しにバイパス化の要望が高まっております。特に幅員が狭小である市内長塚地区においては、朝夕の通勤時間帯の交通渋滞は著しく、住宅が連担していることから、交通安全上危険な箇所となっております。

また、新市建設計画においても、当路線は骨格となる東西の広域連絡軸として位置づけをしており、道路網の基幹となる重要な路線であります。

つきましては、交通安全対策及び円滑な広域ネットワークを構築するためにも、当国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期整備が重要であり、最優先課題であります。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	下妻市
要望事項	国道１２５号（下妻・八千代バイパス）の早期着工
現況	本路線は、県南・県西地域を東西に結び、物流や観光などの地域の産業や、通勤通学など日常生活を支える重要な幹線道路である。下妻市内及び八千代町内の市街地では交通量が多く、通勤時間帯など、円滑な交通に支障をきたしている状況である。 これまでに現道の２か所において交差点改良事業を進めてきたところであり、現在に関連する畑総事業との協議調整を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道１２５号下妻八千代バイパス ・箇所名：下妻市長塚 ～ 八千代町菅谷^{すげのや} ・延長幅員：L=5,500m W=26m（４車線） ・事業期間：未着手 【進捗状況】 R５まで 事業費 134 百万円（県単基礎調査、県単道工調等） 地形図作成、地質調査、中心線測量、予備設計、橋梁予備設計、交通量調査 R６、R７ 県西農林事務所と今泉地区畑地帯総合整備事業との協議調整
今後の対応・課題等	・本バイパスは、鬼怒川を渡河する橋梁の整備など事業費が多額となり、整備期間も長期にわたることが想定されることから、当面の渋滞対策として、現道の貝谷交差点及び砂沼公園入口交差点の改良事業を実施した。 ・貝谷交差点については令和元年９月、砂沼公園入口交差点は令和３年３月にそれぞれ整備が完了したところである。 ・引き続き、畑総事業の進捗に合わせ、道路整備も対応していけるよう農林水産部との協議調整を進めていく。

要 望 書

常総市長 神達 岳志

1 要望事項

鬼怒川ふれあい道路の事業化

2 要望主旨

本市における鬼怒川沿岸地域を取り巻く環境は、常磐自動車道と併せて、現在、暫定2車線供用の圏央道が、令和8年度までに全線4車線化されることなどにより、さらなる広域的な交流の拡大や物流の効率化が図られます。このような周辺環境の変化や災害経験も踏まえ、防災拠点や災害時の避難所、並びに工業団地が点在している当路線は、地域の骨格を成すとともに、大規模災害等の非常時においても安定的な輸送を確保するための重要な道路網を構成するものと考えております。そのような中、当路線の周辺整備構想としまして令和5年度に大生郷工業団地周辺地区基本構想を策定し、圏央道スマートICの設置及び新たな産業団地の創出、防災拠点の整備に向けた事業化を進めており、主路線となる鬼怒川ふれあい道路の早期事業化が益々重要となってきております。令和6年10月25日に「主要地方道取手豊岡線バイパス」の約1.5km区間が開通しましたことは誠にありがたく感謝申し上げます。本路線のミッシングリンクとなります、国道354号バイパスから高崎坂東線までの区間についても、事業の具現化に向けた調整が図られるよう要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	常総市
要望事項	鬼怒川ふれあい道路の事業化
現況	鬼怒川ふれあい道路は、常総市の県道つくば野田線から下妻市、八千代町を縦貫し、結城市の筑西幹線道路までを結ぶ、鬼怒川西岸地域における南北の幹線道路である。 沿道には、内守谷工業団地や坂手工業団地、大生郷工業団地が立地するほか、新たな工業団地等が計画されており、地域間の交流促進や連携、物流の効率化等が期待されることから、早期の事業化が求められている。
対応状況	【概要】 鬼怒川ふれあい道路 ・ 箇所名：常総市内守谷町～結城市浜野辺 ・ 延長：L=約 30,000m ・ 事業期間：平成 18 年度～ 【進捗状況】 ・ 県と常総市が連携して整備を実施。 供用済み延長：L=24,200m（現道利用区間含む） H 9 ：L=1,100m 供用（取手豊岡線バイパス） H30 ：L=3,700m 供用（常総市道） R 2 ：L=2,000m 供用（常総市道） R 6 ：L=1,500m 供用（取手豊岡線バイパス） ・ ルート未決定区間延長：L=5,800m
今後の対応・課題等	・ 国道 354 号バイパスから県道高崎坂東線までのルート未決定区間については、周辺道路の整備による交通状況の変化を踏まえるとともに、周辺の工業団地開発や常総市の新たなまちづくりの動向を注視しながら整備手法などについて検討していく。

要 望 書

常陸太田市長 藤 田 謙 二

1. 要望事項

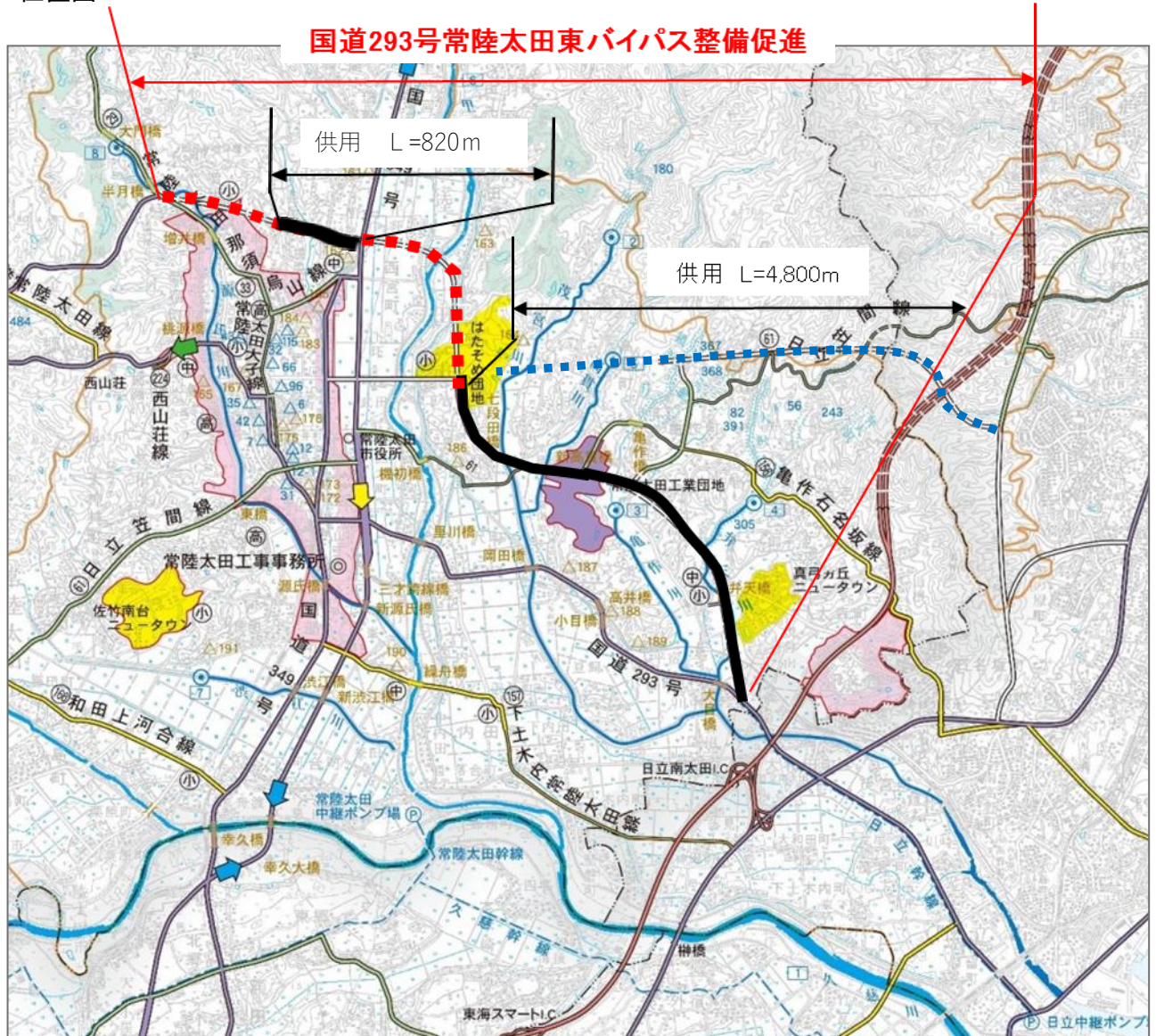
国道 293 号常陸太田東バイパスの整備促進

2. 要望趣旨

国道 293 号は県北地域を東西に結ぶ広域的幹線道路ですが、中心市街地を通過している道路で狭小区間や歩道が無い区間が多く、朝夕の通通勤時や海水浴などの行楽シーズン時に交通渋滞が発生し、円滑な交通に支障をきたしております。

これまで、県当局、関係機関のご配慮により、国道 293 号常陸太田東バイパスは、平成 27 年度にバイパス区間の東側約 4.8km、令和 3 年度までに西側約 0.8km が供用されておりますが、平成 30 年度より本市が市道 0139 号線として整備する路線についても、国道 293 号バイパスへ接続する計画としていることから、整備後の交通負荷を軽減するためにも残る西側区間につきまして引き続き整備促進を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	常陸太田市
要望事項	国道 2 9 3 号常陸太田東バイパスの整備促進
現況	本路線は、県北部工業団地や常磐道日立南太田ICへのアクセスルートとなっており、物流、産業の振興に欠かすことのできない重要な路線である。 しかし、常陸太田市内での交通渋滞や線形不良箇所が生じているため、円滑な交通の確保に向けた整備事業を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道 2 9 3 号常陸太田東バイパス ・箇所名 : 常陸太田市大森町 ～ 増井町 ・延長幅員 : L=8,990m W=15～18m (2車線) ・事業期間 : 平成5年度 ～ ・事業費 : 約 214 億円 【進捗状況】 H16 : 常陸太田工業団地～はたそめ団地間 1,860m 供用 H27 : 国道 293 号現道～常陸太田工業団地間 2,940m 供用 R 2 : 国道 349 号西側 380m 供用 R 3 : 瑞龍町～増井町間 440m 供用 R 5 まで 事業費 16,212 百万円 (進捗率 76%) 測量調査・道路設計・用地取得・橋梁工事・道路改良舗装工事 R 6 事業費 253 百万円 (進捗率 77%) 測量調査・道路設計・道路改良舗装工事 R 7 事業費 425 百万円 (進捗率 79%) 測量調査・道路設計・用地取得・道路改良舗装工事
今後の対応・課題等	・国道 3 4 9 号より西側区間については、引き続き、道路改良舗装工事を実施し、早期の全線供用を目指す。 ・国道 3 4 9 号より東側区間については、測量調査、道路設計を進める。

要 望 書

高萩市長 大部 勝規

1. 要望事項

2 市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）整備事業の促進について

2. 要望主旨

本路線は、北茨城市中郷町の一般県道里見南中郷停車場線と高萩市安良川の一般県道高萩友部線とを南北に結び、地域連携及び発展に資する主要幹線道路であります。

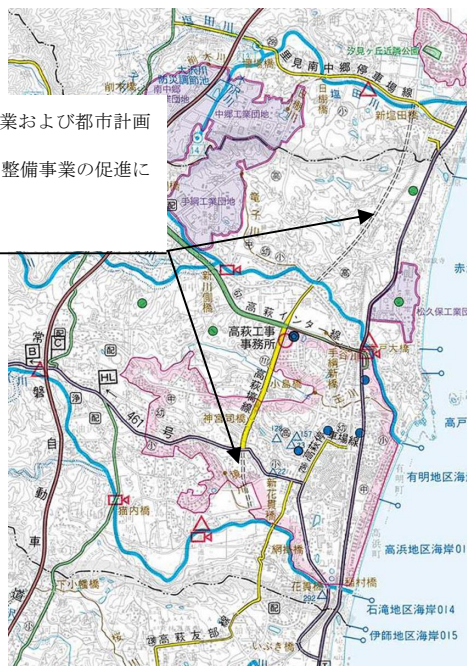
並走する国道6号は、朝夕の通勤時間帯に慢性的な渋滞を引き起こすなど、円滑な交通流動に支障をきたしております。また、東日本大震災時には国道6号が北茨城市において津波により通行止めとなったことを踏まえ、国道6号の代替道路整備が急務となっております。現在整備中である2市連絡幹線道路の効果を活かすためにも、都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）の早急な整備が不可欠であります。

将来的には、北茨城市より高萩市を經由し日立市へアクセスする、国道6号のバイパス機能の重要な役割を担い渋滞緩和、また、周囲の都市基盤の整備を促進する道路として大きな期待が寄せられております。

2市連絡幹線道路整備事業の取り組みにご尽力いただき感謝申し上げますとともに、引き続き都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）の国道461号から南側について、早期完成が図られるよう要望致します。

3. 位置図

① 2市連絡幹線道路整備事業および都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）整備事業の促進について



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	高萩市	
要望事項	2市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）整備事業の促進	
現況	一般県道高萩塙線及び都市計画道路安良川赤浜線は、高萩市と北茨城市を結ぶ幹線道路として、国道6号の渋滞緩和や津波浸水被害時の代替道路形成を目的として整備を進めている。	
対応状況	【概要】	
	地 区 名	①一般県道高萩塙線 〈2市連絡幹線道路〉
	箇所名	高萩市下手綱～北茨城市中郷町
	区分	道路事業
	延長幅員	L=3,650m W=13m（2車線）
	事業期間	H22～
	事業費	約85億円
		②都市計画道路 安良川赤浜線
		高萩市安良川
		街路事業
		L=864m W=16m（2車線）
		H30～
		約44億円
	【進捗状況】	
	① 一般県道高萩塙線	
	R5まで 事業費7,378百万円（進捗率87%）	
	道路改良舗装工事	
	R6	事業費 349百万円（進捗率91%）
	道路改良舗装工事	
	R7	事業費 270百万円（進捗率94%）
	道路改良舗装工事	
	② 安良川赤浜線	
	R5まで 事業費：504百万円（進捗率：11%）	
	設計、測量、地質調査、用地取得	
	R6	事業費：520百万円（進捗率：23%）
	用地取得、工事	
	R7	事業費：400百万円（進捗率：32%）
	用地取得、工事	
今後の対応・課題等	【2市連絡幹線道路（一般県道高萩塙線）】 ・道路改良舗装工事を進め、早期の工事完成に努める。 【都市計画道路 安良川赤浜線】 ・引き続き用地取得を進めていくほか、用地がまとまって取得できた箇所について、順次工事に着手していく。	

要 望 書

北茨城市長 豊 田 稔

1 要望事項

一般県道高萩塙線バイパス（2市幹線道路）の整備促進

2 要望主旨

本路線は、県北臨海3市を南北に結ぶ国道6号のバイパス機能を担う新陸前浜街道（高萩・北茨城2市連絡幹線道路）として位置づけられており、渋滞緩和や災害時の緊急輸送など道路ネットワーク形成の観点から重要な役割を果たすことが期待されています。

また、本市南部の JR 常磐線南中郷駅西側のまちづくりの核となる道路であることから、市民の生活基盤及び産業基盤として早急な整備完了が望まれておりますので、早期開通に向けた整備促進を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	北茨城市
要望事項	一般県道高萩塙線（２市幹線道路）の整備促進
現況	一般県道高萩塙線は、高萩市と北茨城市を結ぶ幹線道路として、国道６号の渋滞緩和や津波浸水被害時の代替道路形成を目的として整備を進めている。
対応状況	【概要】 一般県道高萩塙線 ・箇所名：高萩市下手綱～北茨城市中郷町 ・延長幅員：L=3,650m W=13m（２車線） ・事業期間：平成２２年度～ ・事業費：約８５億円 【進捗状況】 H28：L=660m 供用 H29：L=80m 供用 R 5 まで 事業費 7,378 百万円（進捗率 87%） 道路改良舗装工事 R 6 事業費 349 百万円（進捗率 91%） 道路改良舗装工事 R 7 事業費 270 百万円（進捗率 94%） 道路改良舗装工事
今後の対応・課題等	・道路改良舗装工事を進め、早期の工事完成に努める。

要 望 書

笠間市長 山口 伸樹

1 要望事項

一般県道稲田友部線の整備促進について(現道拡幅(歩道整備)・バイパス整備)

2 要望主旨

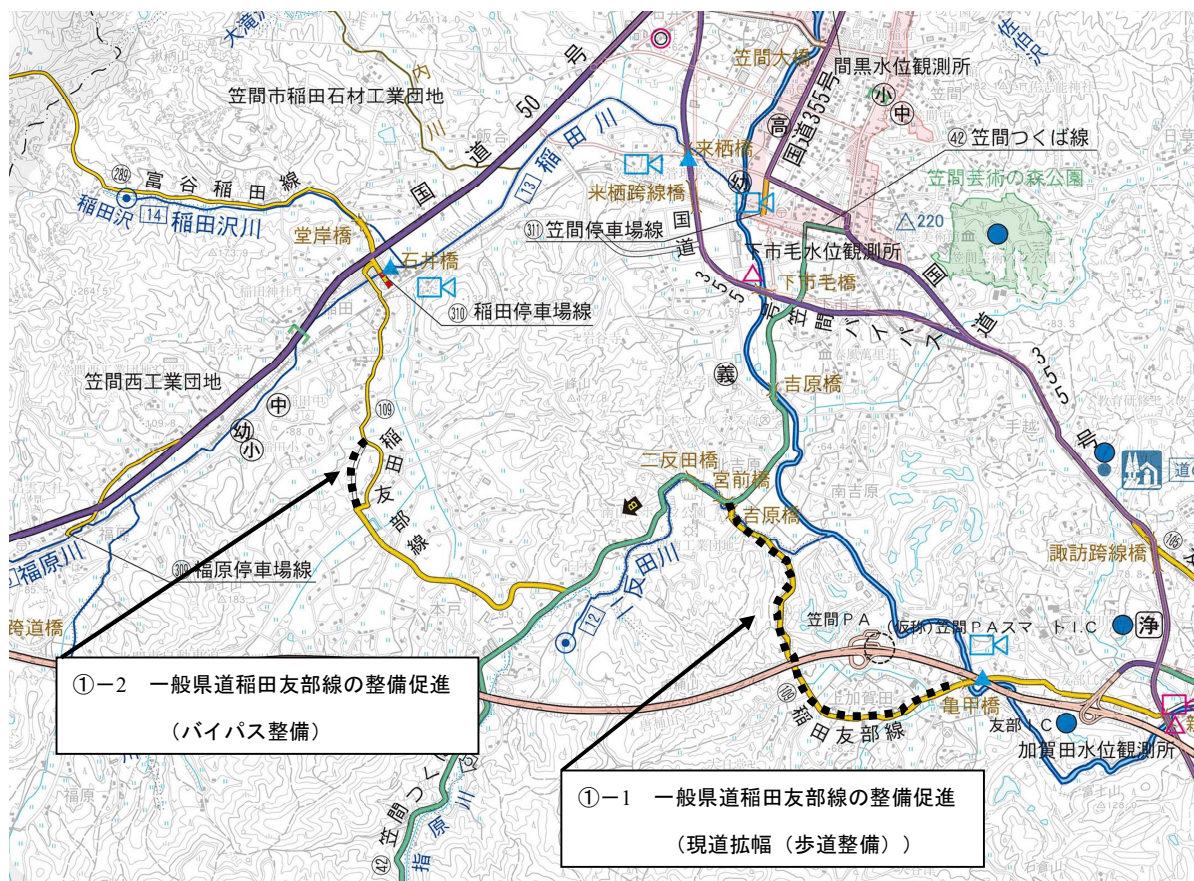
一般県道稲田友部線は、国道355号(笠間市平町)と国道50号線(笠間市稲田)までを結ぶ幹線道路であり、本市にとって重要な路線であります。

本路線は、国道355号から本戸地区までの区間については整備されておりますが、現道の一部が狭隘であるため普通自動車のすれ違いに支障をきたし、歩行者等の通行も危険な状況であります。

また、笠間パーキングエリアスマートインターチェンジの整備に伴い、アクセス道路と接続する本路線については、児童の通学路に指定されておりますが、歩道の整備がされていないことや、道路線形が悪く円滑な交通に支障をきたしている状況にあります。今後、スマートインターチェンジの整備により、交通量の増加が見込まれることから、通学路の安全を確保する必要があります。

つきましては、上加賀田地区における安全安心な道路空間を構築するための歩道整備並びに、本戸地区における未改良区間の早期バイパス整備が図られますよう要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課・道路維持課

市町村	笠間市																
要望事項	一般県道稲田友部線の整備促進（現道拡幅（歩道整備）・バイパス整備）																
現況	一般県道稲田友部線は、国道 355 号（笠間市平町）と国道 50 号（笠間市稲田）を結ぶ幹線道路である。 このうち本戸地区内の現道の一部では、幅員が大変狭小で線形も屈曲していることから、円滑な走行や歩行者の安全確保を目的に、バイパス整備を進めている。 また、上加賀田地区においては、笠間パーキングスマートインターチェンジの整備に伴い交通量の増加が見込まれている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <th>事業名</th><th>① 一般県道稲田友部線</th><th>②一般県道稲田友部線</th></tr> <tr> <th>箇所名</th><td>笠間市本戸地内</td><td>笠間市上加賀田地内（笠間つくば線～北関東道）</td></tr> <tr> <th>延長幅員</th><td>2,315m W=8～11m（2車線）</td><td>1,650m W=8～11m（2車線）</td></tr> <tr> <th>事業期間</th><td>平成 10 年度～</td><td>令和 2 年度～</td></tr> <tr> <th>事業費</th><td>約 12 億円</td><td>約 12 億円</td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 笠間市本戸地内 H25 まで L=1,616m 供用 R 5 まで 事業費 784 百万円（進捗率 73%） 測量・設計、用地取得、工事、埋蔵文化財調査 R 6 事業費 151 百万円（進捗率 88%）埋蔵文化財調査、工事 R 7 事業費 170 百万円（進捗率 93%）工事 ② 笠間市上加賀田地内（笠間つくば線～北関東道） R 5 まで 事業費 47 百万円（進捗率 4%）測量・設計 R 6 事業費 166 百万円（進捗率 18%）設計、用地買収 R 7 事業費 226 百万円（進捗率 37%）測量・設計、用地買収、工事		事業名	① 一般県道稲田友部線	②一般県道稲田友部線	箇所名	笠間市本戸地内	笠間市上加賀田地内（笠間つくば線～北関東道）	延長幅員	2,315m W=8～11m（2車線）	1,650m W=8～11m（2車線）	事業期間	平成 10 年度～	令和 2 年度～	事業費	約 12 億円	約 12 億円
事業名	① 一般県道稲田友部線	②一般県道稲田友部線															
箇所名	笠間市本戸地内	笠間市上加賀田地内（笠間つくば線～北関東道）															
延長幅員	2,315m W=8～11m（2車線）	1,650m W=8～11m（2車線）															
事業期間	平成 10 年度～	令和 2 年度～															
事業費	約 12 億円	約 12 億円															
今後の対応・課題等	・用地取得が完了したことから、埋蔵文化財調査や工事を進め、早期の完成に努める。 ・歩道整備については、通学路交通安全プログラムへ位置付けた内容を踏まえ、関係機関と協議しながら対応を検討する。																

要 望 書

取手市長 中村 修

1 要望事項

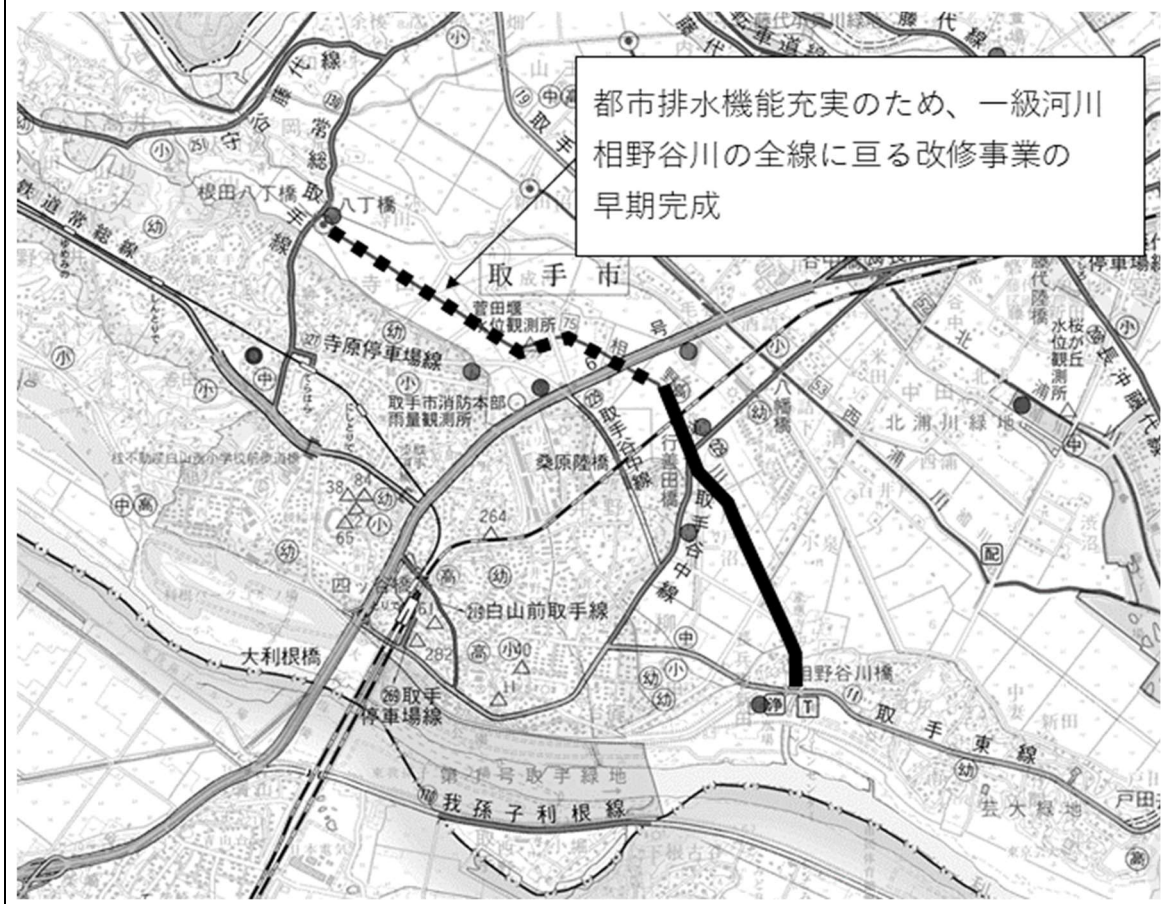
都市排水機能充実のため一級河川相野谷川の全線に亘る改修事業の早期完成

2 要望主旨

一級河川相野谷川は、取手市寺田に源を発し、取手市小文間の排水機場で利根川へ合流する全長約5.4Kmの河川です。この都市排水路流域では首都圏のベッドタウンとして急激な開発による都市化が進んだため、台風や集中豪雨時などに内水による道路冠水被害が毎年発生しています。この冠水問題解決のため、新取手地区の雨水排水整備を行うと共に、この排水流末である下高井雨水幹線の整備を実施いたしました。しかしこの事業完成による冠水被害の解消を図るためには、放流先である相野谷川の全線に亘る改修事業の早期完成が必要となります。

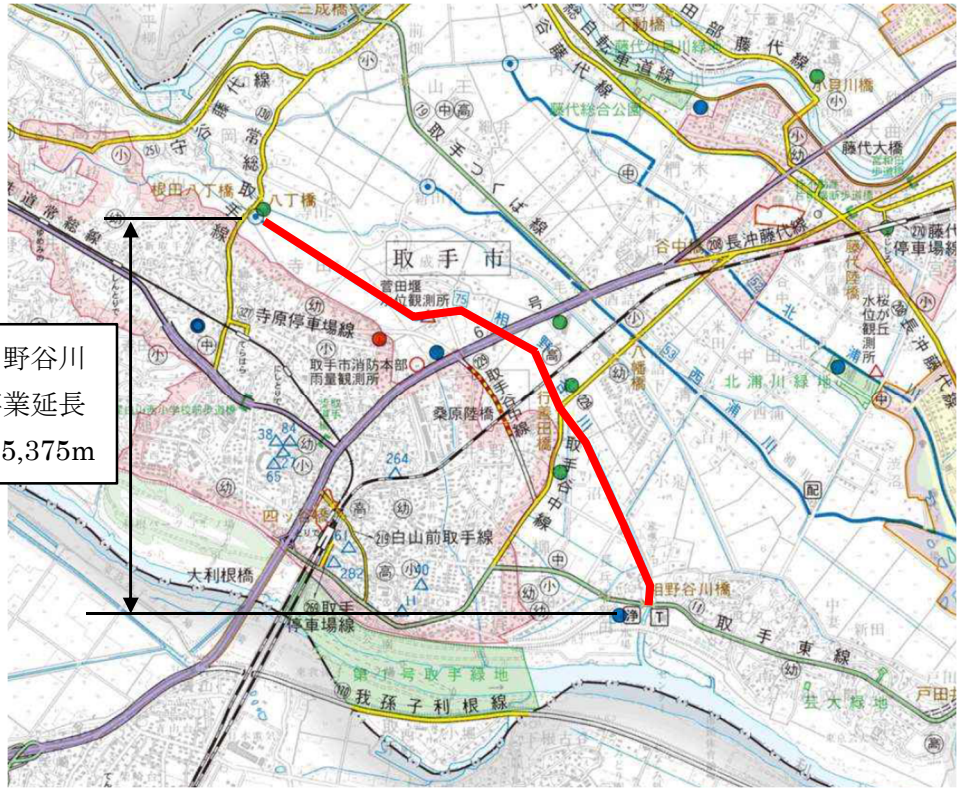
茨城県におかれましては厳しい財政状況の中、JR常磐線下改修が完了し、その上流側についても河川境界を決定し、現在国道6号下の改修に着手されております。つきましては引き続き当該事業を推進して頂けるよう要望いたします。また、現河川の機能確保のため除草や河道掘削を含めた維持管理についても重ねて要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	取手市
要望事項	一級河川相野谷川改修事業の早期完成
現況	相野谷川は、利根川合流部の相野谷川排水機場から県道常総取手線八丁橋下流までの5,375mについて、河川改修を進めている。
対応状況	・事業延長 : 5,375m ・全体事業費 : 17,617 百万円 ・平成 28 年度までに JR 常磐線橋梁の改築を含め下流区間の 2,175m が完了。 ・令和元年度より国道 6 号渡河施設の改修に着手。これまで下部工・上部工は完了しており、現在、道路改良工事を施工中（国施工） R 5 年度まで : 工事、用地補償等 事業費 12,142 百万円 進捗率 68.9% R 6 年度 : 工事、用地補償等 (R 5 補正含む) 事業費 649 百万円 進捗率 72.9% R 7 年度 : 工事、用地補償等 (R 6 補正含む) 事業費 100 百万円 進捗率 73.5% (概略図)  相野谷川 事業延長 L=5,375m
今後の対応・課題等	・現在進めている国道 6 号渡河施設の改修とあわせて未整備区間の整備を進めていく。

要 望 書

牛久市長 沼 田 和 利

1. 要望事項

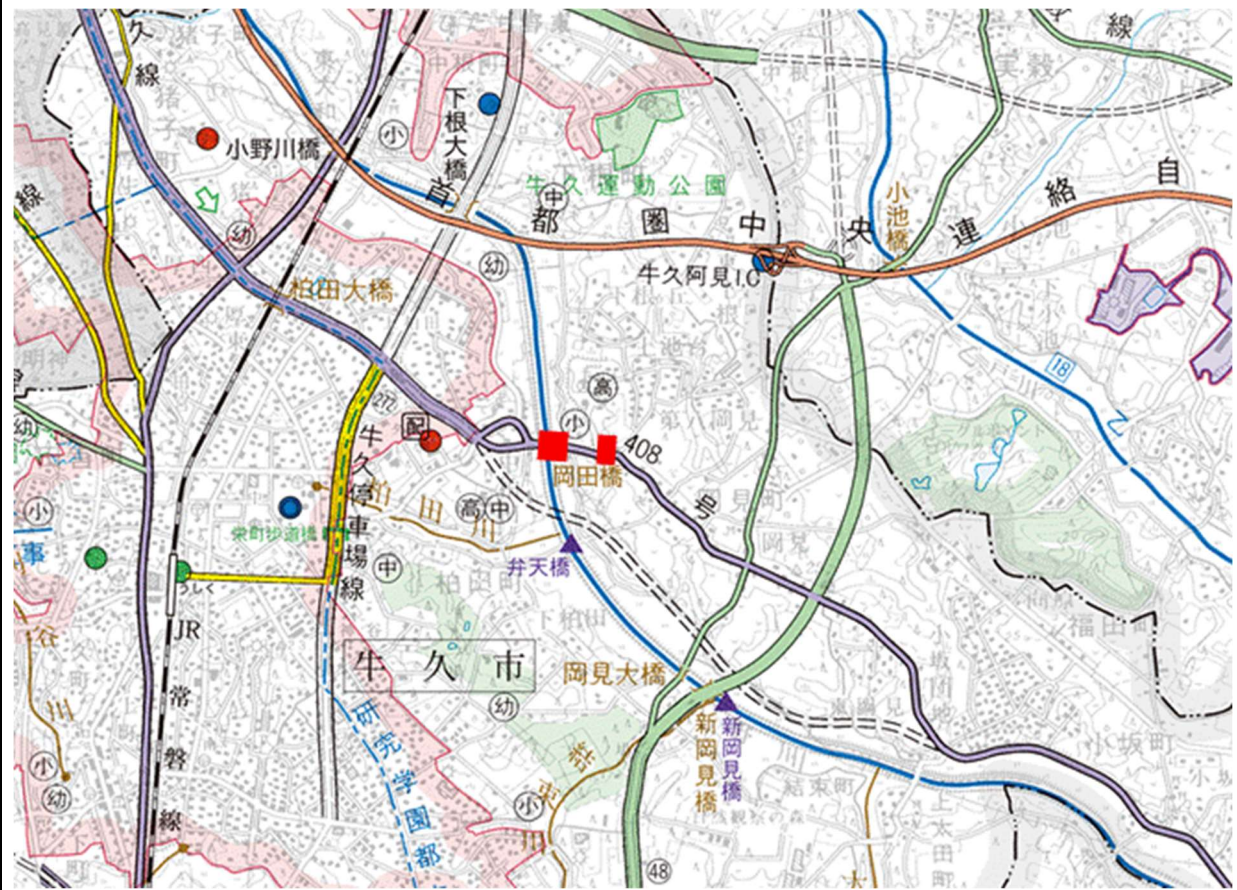
国道408号歩道狭小箇所の拡幅整備促進

2. 要望主旨

牛久市岡見町地内における国道408号沿線には、市立岡田小学校があり、特に岡田橋から上池団地入口交差点までの区間については、全児童が通る主要な通学路となっております。また、隣接して県立牛久高等学校があるとともに、市立牛久第一中学校の通学路にもなっていることから、多くの自転車通学者もおります。

自転車通学者につきましては、本来路側帯を通行すべきところではありますが、車道が狭く、路側帯も狭小であり、さらに大型車の通行が非常に多いことから、歩道を通行しなければならない状況にあります。

このような通学路環境のなかで、当該箇所は歩道の幅員が狭小であるため、通学児童及び自転車通学者が錯綜し、大変危険であることから、地元住民、市議会議員、並びにPTAをはじめとする学校関係者等から多くの整備要望が出されておりますので本市におきましては、国道408号の歩道狭小箇所の拡幅整備促進を要望致します。



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路維持課

市町村	牛久市
要望事項	国道４０８号歩道狭小箇所の拡幅整備促進
現況	本路線は、千葉県成田市を起点に、茨城県南東部を横断し、つくば市へ通じる幹線道路である。牛久市岡見町地内では、通学路に指定されているが、近隣学校の通学時間においても多数の大型車両が往来しており、歩道が狭いため、通学児童と車両との事故の恐れがある。
対応状況	全体計画 延長幅員：L=400m、L=2.5m（歩行スペースあり W=0.5～1.8m） 事業期間：平成 28 年度～ 事業費：300 百万円 R 5 まで 事業費 98 百万円（進捗率 33%） 路線測量、設計、用地測量、用地補償、工事 R 6 事業費 1 百万円（進捗率 33%） 道路台帳整備 R 7 事業費 10 百万円（進捗率 36%） 用地測量
今後の対応・課題等	引き続き、事業進捗を図っていく。

要 望 書

つくば市長 五十嵐 立青

1 要望事項

一般国道 125 号バイパスの整備促進について
(つくば市寺具地内～北条地内)

2 要望主旨

国道 125 号は、つくば市を經由し、県南・県西地区を東西に結ぶ、地域社会の経済や文化の発展に欠かすことのできない広域幹線道路となっております。

国道 125 号の整備については、茨城県の御尽力により、平成 22 年度に田中交差点から池田南交差点までの区間が、筑西つくば線バイパスと合わせて供用開始され、平成 26 年度には、池田南交差点から明石北交差点までの区間が、つくば真岡線バイパスと合わせて供用開始されました。さらに、明石北交差点から寺具までの区間につきましても、令和 2 年 3 月に供用開始されたことから、つくばバイパス区間全線が開通しましたことに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

しかしながら、いまだバイパスの未整備区間や現道拡幅及び歩道整備が必要な箇所も残されており、近年の交通量の増加及び周辺地域の著しい変化により、通行上危険な箇所が見受けられる状況です。

つきましては、寺具から西側の現道拡幅の区間について整備促進を要望するとともに、令和 2 年度に事業化されましたつくば東バイパスの池田南交差点から主要地方道筑西つくば線までの区間についても早期着工していただきますよう要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	つくば市																
要望事項	一般国道１２５号バイパスの整備促進																
現況	本路線は、県南西部を横断する幹線道路であり、市街地の渋滞緩和や都市間の連携を担う重要な路線である。現道は交通量が多く、交差点を中心に渋滞が発生していることから、円滑な交通の確保を図るため、バイパス整備事業を進めている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>事業名</td><td>①一般国道１２５号 つくばバイパス</td><td>②一般国道１２５号 つくば東バイパス</td></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>つくば市田中～下妻市高道祖</td><td>つくば市池田～杉木</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=5,920m W=25m</td><td>L=1,100m W=25m（暫定２車線）</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>H２年度～</td><td>R２年度～</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約１１４億円</td><td>約４０億円</td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 一般国道１２５号つくばバイパス H15：下妻区間 L=600m 供用 R１：つくば区間 L=3,440m 供用 R５まで 事業費 １１,１２１百万円（進捗率 97%） 測量・調査・道路詳細設計・用地取得・道路改良・交差点改良 R６ 事業費 １４８百万円（進捗率 98%）用地取得 R７ 事業費 ８百万円（進捗率 98%）用地取得 ② 一般国道１２５号つくば東バイパス R５まで 事業費 ３１９百万円（進捗率 8%） 測量、地質調査、道路詳細設計、用地測量、用地取得 R６ 事業費 ２５百万円（進捗率 10%）用地取得 R７ 事業費 １１６百万円（進捗率 11%）用地取得、道路改良工事		事業名	①一般国道１２５号 つくばバイパス	②一般国道１２５号 つくば東バイパス	箇所名	つくば市田中～下妻市高道祖	つくば市池田～杉木	延長幅員	L=5,920m W=25m	L=1,100m W=25m（暫定２車線）	事業期間	H２年度～	R２年度～	事業費	約１１４億円	約４０億円
事業名	①一般国道１２５号 つくばバイパス	②一般国道１２５号 つくば東バイパス															
箇所名	つくば市田中～下妻市高道祖	つくば市池田～杉木															
延長幅員	L=5,920m W=25m	L=1,100m W=25m（暫定２車線）															
事業期間	H２年度～	R２年度～															
事業費	約１１４億円	約４０億円															
今後の対応・課題等	① 一般国道１２５号つくばバイパス ・引き続き、用地取得を進め、早期の供用を目指す。 ② 一般国道１２５号つくば東バイパス ・引き続き、用地取得・道路改良工事を進める。																

要 望 書

ひたちなか市長 大谷 明

1 要望事項

一級河川中丸川河川改修の促進について

2 要望主旨

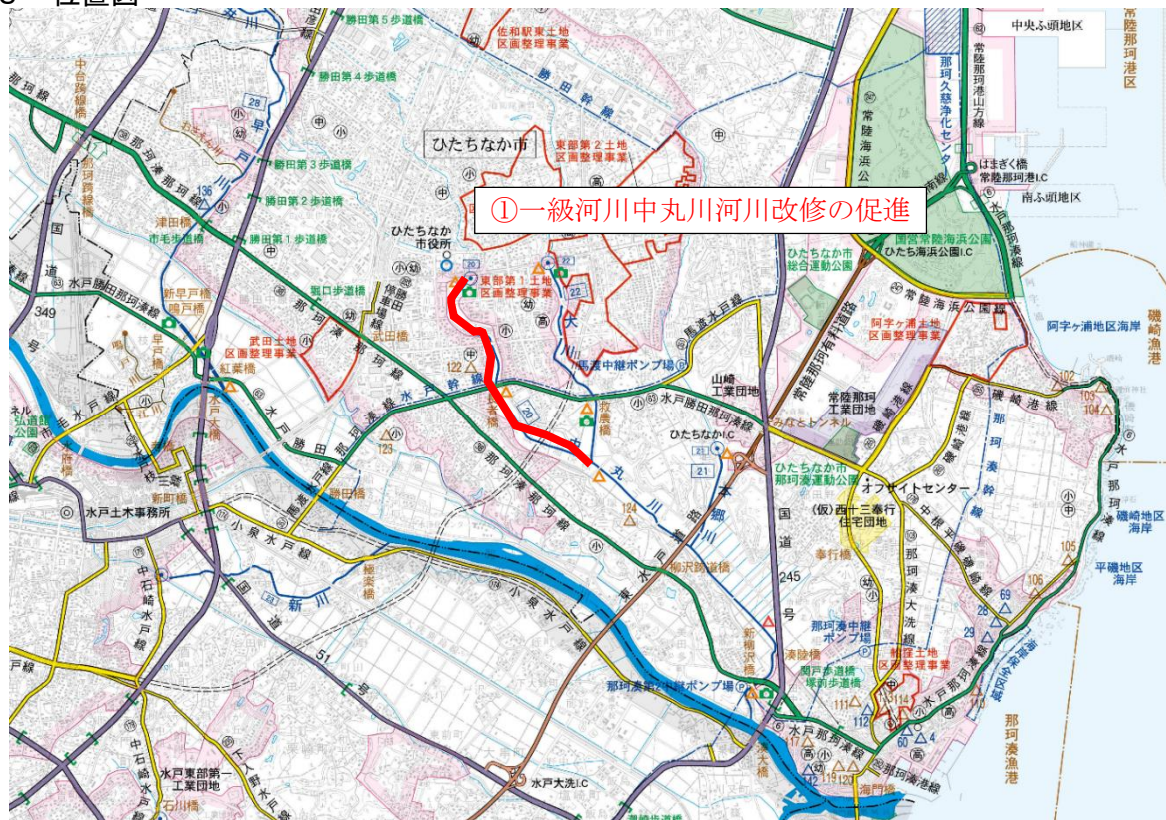
中丸川は、ひたちなか市の西部地区(大字田彦)付近に源を発して、中心市街地を経て水田地帯を流下しながら大川及び本郷川と合流して、那珂川に架る湊大橋付近左岸に注ぐ流域面積40.2km²、流路延長11kmを有する一級河川であります。

本河川の整備については、計画延長6,400mであり、事業については、昭和55年度から用地買収に着手しております。現在、那珂川合流点から大川合流点まで約4,300mの河川改修工事を行っております。合流点から上流中丸川調節池までの区間について、用地調査等が進められております。

近年、本市では、都市計画道路「昭和通り線」から、上流に位置する市街化区域の急速な都市化の進展及び開発に伴う宅地造成等により急激な流量の増加、最近の気候変動による降雨量の増加、新たな気象による頻発する線状降水帯が発生しております。このような気象状況で、大雨災害発生の危険度が急激に高まることから、河川・水路が氾濫し、沿川家屋や農作物等に甚大な被害をもたらしています。

本市としましては、市民の安全安心な暮らしを守るまちづくりを掲げており、水害から市民の生命、財産、暮らしを守ることが喫緊の課題であることから、「一級河川中丸川河川改修の促進」の要望について、特段の御配慮いただきたくお願い申し上げます。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	ひたちなか市
要望事項	一級河川中丸川改修の促進
現況	中丸川は、那珂川合流部から調節池下流までの 6,400mならびにその上流の多目的調節池の整備を進めている。
対応状況	- 事業延長 : 6,400m + 多目的調節池 - 全体事業費 : 14,453 百万円 - 令和 6 年度末までに下流から大川合流部までの 4,300mが完了 R 5 年度まで : 工事、用地取得等 事業費 9,420 百万円 進捗率 65.2% R 6 年度 : 工事、用地取得等 (R5 補正含む) 事業費 418 百万円 進捗率 68.1% R 7 年度 : 工事、測量・設計等 (R6 補正含む) 事業費 1,017 百万円 進捗率 75.1% (概略図) 中丸川 事業延長 L=6,400m+多目的調節池
今後の対応・課題等	多目的調節池の整備を優先して進め、早期完成を目指すとともに、未整備区間の大川合流部から多目的調節池までの区間においても順次、設計等を進めていく。

要 望 書

鹿嶋市長 田口 伸一

1 要望事項

主要地方道茨城鹿島線（都市計画道路宮中佐田線）の早期完成及び延伸計画の実現

2 要望主旨

主要地方道茨城鹿島線（都市計画道路宮中佐田線）は、鹿嶋市を南北に縦断し、国道51号及び国道124号の広域幹線を結ぶ主要な幹線道路であります。

本路線は、朝夕の通通勤時間帯やカシマサッカースタジアムでのＪリーグ等の開催時において慢性的な交通渋滞が発生しております。また、令和2年に洋上風力発電事業に係る基地港湾に指定された鹿島港外港地区埠頭は令和6年10月に完成したところであり、鹿島港及び鹿島臨海工業地帯へのアクセス向上により、物流機能を充足させる道路体系の整備が急務であることはもちろんのこと、災害時における緊急輸送路や避難路として重要な役割を果たしている道路であります。

つきましては、現計画で残る須賀工区の整備促進及び国道124号バイパスから県道栗生木崎線までの延伸計画決定を含め、早期の整備促進を強く要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	鹿嶋市																
要望事項	主要地方道茨城鹿島線（都市計画道路宮中佐田線）の早期完成及び延伸計画の実現																
現況	本路線は、鹿嶋市を南北に縦断する幹線道路で、鹿島港外港地区における物流機能の充実、交通渋滞の緩和、災害時の緊急輸送道路の役割など、多大な効果が期待されることから、整備が求められている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>地 区 名</td><td>① 須賀工区</td><td>② 延伸計画区間</td></tr> <tr> <td>箇 所 名</td><td>鹿嶋市須賀</td><td>鹿嶋市木滝～栗生</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=1,310m、W=16m</td><td>L=1,800m</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>平成 23 年度～</td><td>—</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約 28 億円</td><td></td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 須賀工区 全体延長 L=1,310m のうち、県道拡幅区間 L=480m を優先区間として事業中。 市道拡幅区間 L=830m については、県道と市道の交換手続きを進める。 【優先区間】全体事業費 817 百万円 R 5 事業費 5 百万円（進捗率 86%） R 6 事業費 5 百万円（進捗率 87%）用地補償 【市道拡幅区間】全体事業費 約 2,000 百万円 R 5 県道と市道の交換手続き調整。 R 7 事業費 5 百万円 用地調査 ②延伸計画区間 未着手		地 区 名	① 須賀工区	② 延伸計画区間	箇 所 名	鹿嶋市須賀	鹿嶋市木滝～栗生	延長幅員	L=1,310m、W=16m	L=1,800m	事業期間	平成 23 年度～	—	事業費	約 28 億円	
地 区 名	① 須賀工区	② 延伸計画区間															
箇 所 名	鹿嶋市須賀	鹿嶋市木滝～栗生															
延長幅員	L=1,310m、W=16m	L=1,800m															
事業期間	平成 23 年度～	—															
事業費	約 28 億円																
今後の対応・課題等	① 須賀工区 優先区間については物件移転が完了次第、次年度以降引き続き工事を進める。市道拡幅区間については県道と市道の交換手続きを進めるとともに用地調査を行う。 ②延伸計画区間 計画の具体化に向けて、公団混乱地区など用地の課題解決を進めるとともに、街づくりの観点から、道路の必要性を高めていくことが重要。 (参考) ○宮中・佐田工区：全線 4 車線供用済み。（L=1,955m、W=22m） ○須賀工区：事業延長 480m のうち、320m が整備済み。																

要 望 書

潮来市長 原 浩道

1 要望事項

一級河川前川の景観・環境・水質浄化に配慮した河川改修の整備促進

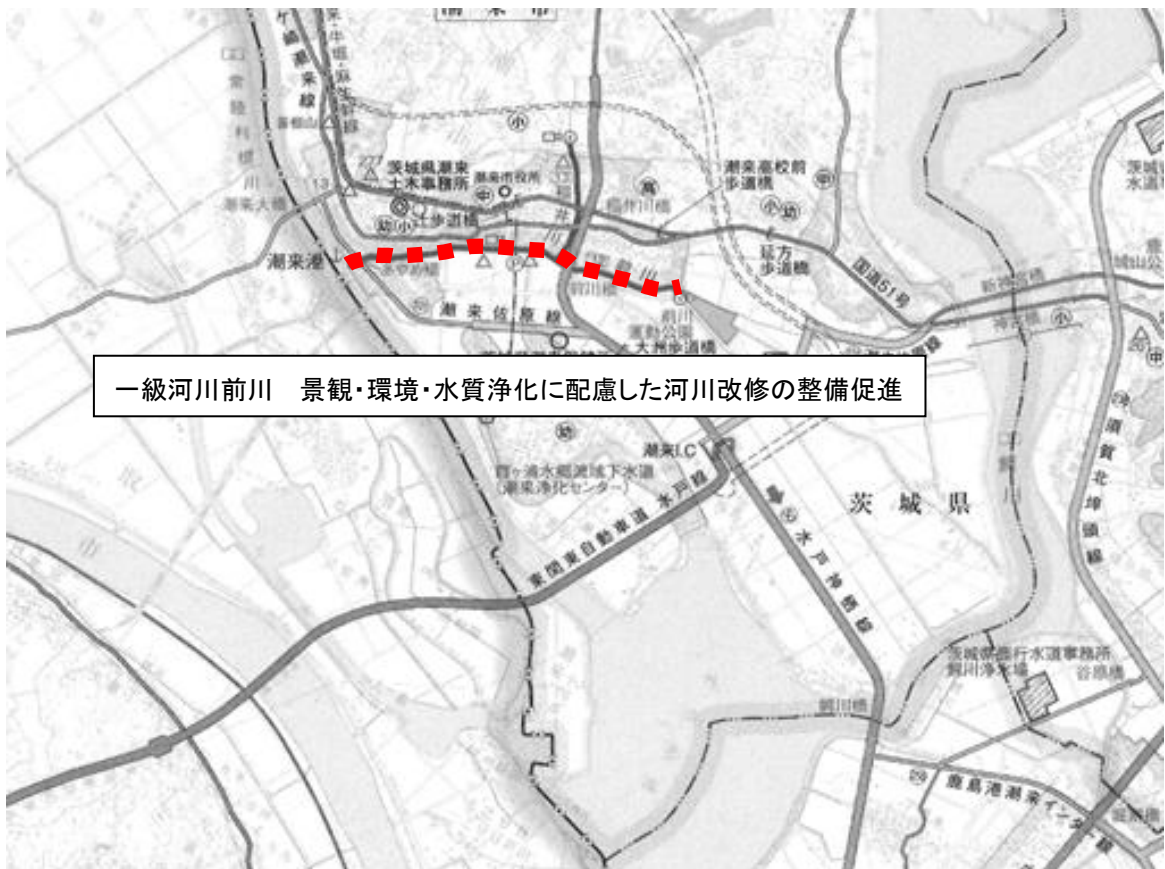
2 要望主旨

一級河川前川は、江戸時代より水運の中継地として賑わい、水郷潮来の象徴として観光交流の拠点であります。

近年、台風等による浸水被害が多く早期の治水対策が望まれてきましたが、国の事業により河口部に前川水門と一体となる強制排水施設が平成22年3月に完成し、今後の治水対策に大きな効果をもつものと期待されています。また、水害被害軽減を目的とした前川中流部の拡幅及び管理用通路の整備が進められています。

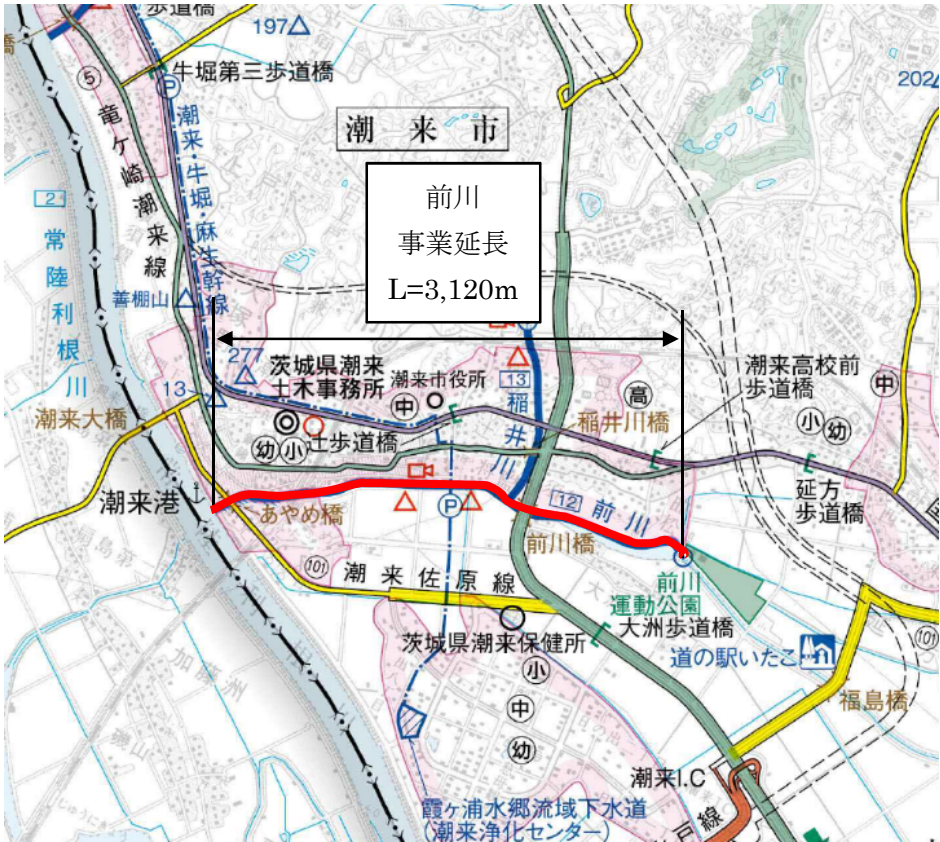
引き続き、前川河川改修に合わせた遊歩道の修復・再生・回遊経路の確保の整備にあたり治水防災対策を優先しつつ、景観・環境・水質浄化に配慮した一体的な整備を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	潮来市
要望事項	一級河川前川の景観・環境・水質浄化に配慮した河川改修の整備促進
現況	前川は、常陸利根川合流部から大洲閘門までの3,120mについて、河川改修を進めている。
対応状況	・事業延長 : 3,120m ・全体事業費 : 2,671 百万円 ※平成 23 年度に県と市の協働により「前川かわまちづくり計画」を策定。 R 5 年度まで : 工事、用地取得 事業費 1,911 百万円 進捗率 71.5% R 6 年度 : 工事、用地取得 (R 5 補正含む) 事業費 473 百万円 進捗率 89.3% R 7 年度 : 工事、設計等 (R 6 補正含む) 事業費 180 百万円 進捗率 96.0% (概略図) 
今後の対応・課題等	・引き続き、市と連携して、河川環境に配慮した整備を実施するとともに、残る区間についても順次、河川改修を進めていく。

要 望 書

守谷市長 松丸修久

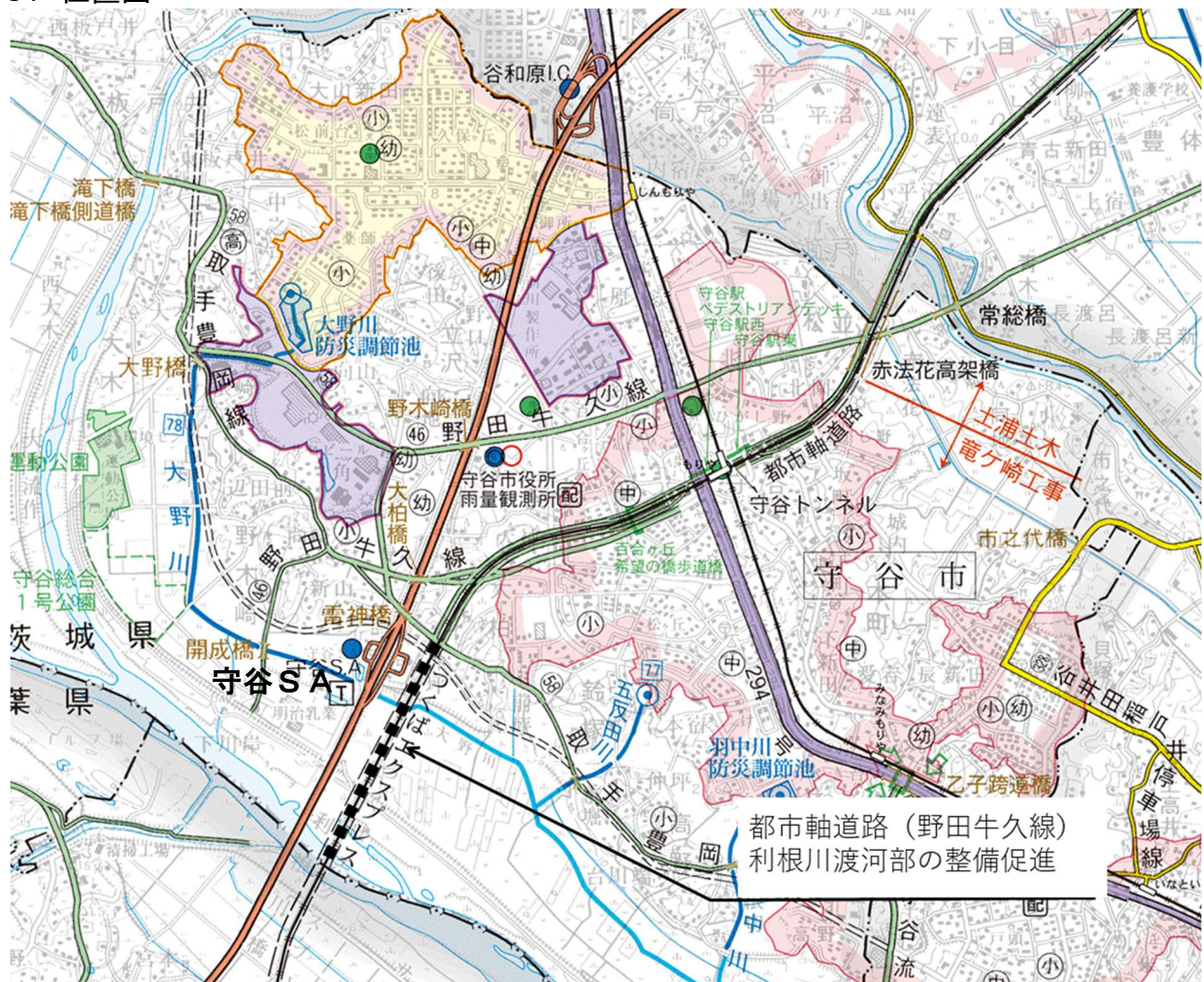
1. 要望事項

都市軸道路（野田牛久線）利根川渡河部の整備促進

2. 要望主旨

都市軸道路（野田牛久線）は、埼玉県、千葉県及び茨城県のつくばエクスプレス沿線地域の骨格軸を形成する広域幹線道路であり、つくばエクスプレス沿線のネットワークを形成するためにも、整備促進が急務となっております。特に、令和7年度に事業化された利根川渡河部の整備は、新たなまちづくり・交流の促進が図られるだけでなく、令和6年度に新規事業化箇所へ採択された（仮）守谷SAスマートICと都市軸道路等が一体的に機能することで、常磐自動車道や国道6号及び294号、県道47号などの慢性的な渋滞の解消や首都圏の物流効率化が期待されることから、一日でも早い整備促進を要望するものです。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	守谷市
要望事項	都市軸道路（野田牛久線）利根川渡河部の整備促進
現況	都市軸道路（野田牛久線）は、埼玉県、千葉県及び茨城県のつくばエクスプレス沿線地域の骨格軸を形成する広域的な幹線道路である。特に、都市軸道路の利根川渡河部の整備は、常磐自動車道や国道6号などの慢性的な渋滞の緩和や首都圏の物流の効率化等が期待されることから、早期の整備が求められている。
対応状況	【概要】 都市軸道路（主要地方道 野田牛久線） ・ 箇所名：守谷市大柏～つくばみらい市東櫛戸 ・ 延長幅員：L=9.9km W=30～40m（4車線） ・ 事業期間：平成7年度～ ・ 事業費：約987億円 【進捗状況】 ・ H25年度までに8.4km供用（暫定2車線含む） ・ R7年度に利根川渡河部新規事業化 （利根川渡河部） R7 事業費 30百万円（進捗率0.1%） 地質調査 （小貝川渡河部・柳島高架橋） ・ 小貝川渡河部 守谷市(赤法花交差点)～つくばみらい市(青柳北交差点) R6.8 4車線供用 ・ 柳島高架橋 R7 事業費 710百万円 道路舗装工事
今後の対応・課題等	・ 利根川渡河部については、令和7年度に新規事業化され、早期整備に向けて、千葉県と連携しながら調査・設計を進めていく。 ・ 柳島高架橋を含む、青柳北交差点から県道常総取手線までの4車線化を進めていく。

要 望 書

常陸大宮市長 鈴木 定 幸

1. 要望事項

国道123号の整備及び那珂川大橋架替の促進（野口地内）

2. 要望主旨

国道123号の那珂川大橋については、幅員が狭く大型車の対面通行が困難な状態にあります。

本道路は、本市御前山地域から県庁所在地である水戸市への重要なアクセス道路であるばかりでなく、通勤・通学等にも利用されており生活の基盤として大変重要な道路でありますので、橋梁の取付区間（バイパス部）の整備と共に那珂川大橋架替の促進を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	常陸大宮市																
要望事項	国道１２３号の整備及び那珂川大橋架替の促進																
現況	本路線は、栃木県宇都宮市と本県の水戸市を結ぶ幹線道路であり、観光、産業の振興や地域住民の日常生活に欠かすことのできない重要な路線である。 しかし、那珂川大橋は、幅員が狭く、大型車とのすれ違いなどの交通に支障となっているため、観光振興や物流ネットワークの強化に向けた整備事業を進めている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>事業名</td><td>①一般国道１２３号 御前山バイパス</td><td>②一般国道１２３号 那珂川大橋</td></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>常陸大宮市野口</td><td>常陸大宮市野口～城里町御前山</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=700m W=12m（２車線）</td><td>L=800m W=12m（２車線）</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>R２年度～</td><td>R２年度～</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約 35 億円</td><td>約 65 億円</td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 一般国道１２３号御前山バイパス R５まで 事業費 107 百万円（進捗率３％） 測量調査、道路設計 R６ 事業費 27 百万円（進捗率４％） 用地測量、用地取得 R７ 事業費 14 百万円（進捗率４％） 用地取得、樹木伐採工事 ② 一般国道１２３号那珂川大橋 R５まで 事業費 585 百万円（進捗率９％） 測量調査、道路設計、用地測量 R６ 事業費 160 百万円（進捗率１１％） 用地取得 R７ 事業費 1,020 百万円（進捗率２７％） 用地取得、橋梁下部工事		事業名	①一般国道１２３号 御前山バイパス	②一般国道１２３号 那珂川大橋	箇所名	常陸大宮市野口	常陸大宮市野口～城里町御前山	延長幅員	L=700m W=12m（２車線）	L=800m W=12m（２車線）	事業期間	R２年度～	R２年度～	事業費	約 35 億円	約 65 億円
事業名	①一般国道１２３号 御前山バイパス	②一般国道１２３号 那珂川大橋															
箇所名	常陸大宮市野口	常陸大宮市野口～城里町御前山															
延長幅員	L=700m W=12m（２車線）	L=800m W=12m（２車線）															
事業期間	R２年度～	R２年度～															
事業費	約 35 億円	約 65 億円															
今後の対応・課題等	① 一般国道１２３号御前山バイパス ・引き続き、用地取得を進める。 ② 一般国道１２３号那珂川大橋 ・引き続き、用地取得を進めるとともに、今年度、橋梁下部工事に着手する。																

要 望 書

那珂市長 先崎 光

1. 要望事項

国道118号の4車線化事業の促進

2. 要望主旨

国道118号は、那珂ICを利用した行楽地へ向かう観光客や、沿線の工業団地への物流道路として利用されていますが、観光シーズンや平日朝夕の通勤時間帯における著しい渋滞が発生し、円滑な交通に大きな支障をきたしております。

また本路線につきましては、各拠点をつなぐ道路ネットワークによる地域経済の活性化や、安全・安心の地域づくり、広域連携を含めた災害時の緊急避難路・重要物流道路の強化などの防災に資する道路としての観点から、早期の4車線での整備促進を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	那珂市
要望事項	国道 1 1 8 号の 4 車線化事業の促進
現況	本路線は、常磐道那珂ICから奥久慈方面を縦断する幹線道路であり、観光、産業の振興に欠かすことのできない重要な路線である。 しかし、行楽シーズンや朝夕の通勤時間帯において、交通量が非常に多く、交通渋滞が発生しているため、円滑な交通の確保に向けた整備事業を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道 1 1 8 号那珂大宮バイパス ・箇所名 : 那珂市飯田 ～ 常陸大宮市下村田 ・延長幅員 : L=8,300m W=28m (4 車線) ・事業期間 : 平成 8 年度 ～ ・事業費 : 約 226 億円 【進捗状況】 H23 : 常陸大宮市下村田地内の延長 1,600m を 4 車線で供用 R 2 : 那珂市瓜連地内から常陸大宮市下村田地内までの 1,600m を 4 車線で供用 R 4 : 那珂市中里地内から那珂市瓜連地内までの 1,500m を 4 車線で供用 R 5 まで 事業費 14,633 百万円 (進捗率 65%) 測量調査・道路設計・用地取得・橋梁工事・道路改良舗装工事 R 6 事業費 108 百万円 (進捗率 65%) 用地取得 R 7 事業費 167 百万円 (進捗率 66%) 用地取得
今後の対応・課題等	・引き続き、残る約 3.6km 区間の用地取得を進める。

要 望 書

筑西市長 設 楽 詠美子

1. 要望事項

主要地方道筑西つくば線バイパスの整備促進について

2. 要望主旨

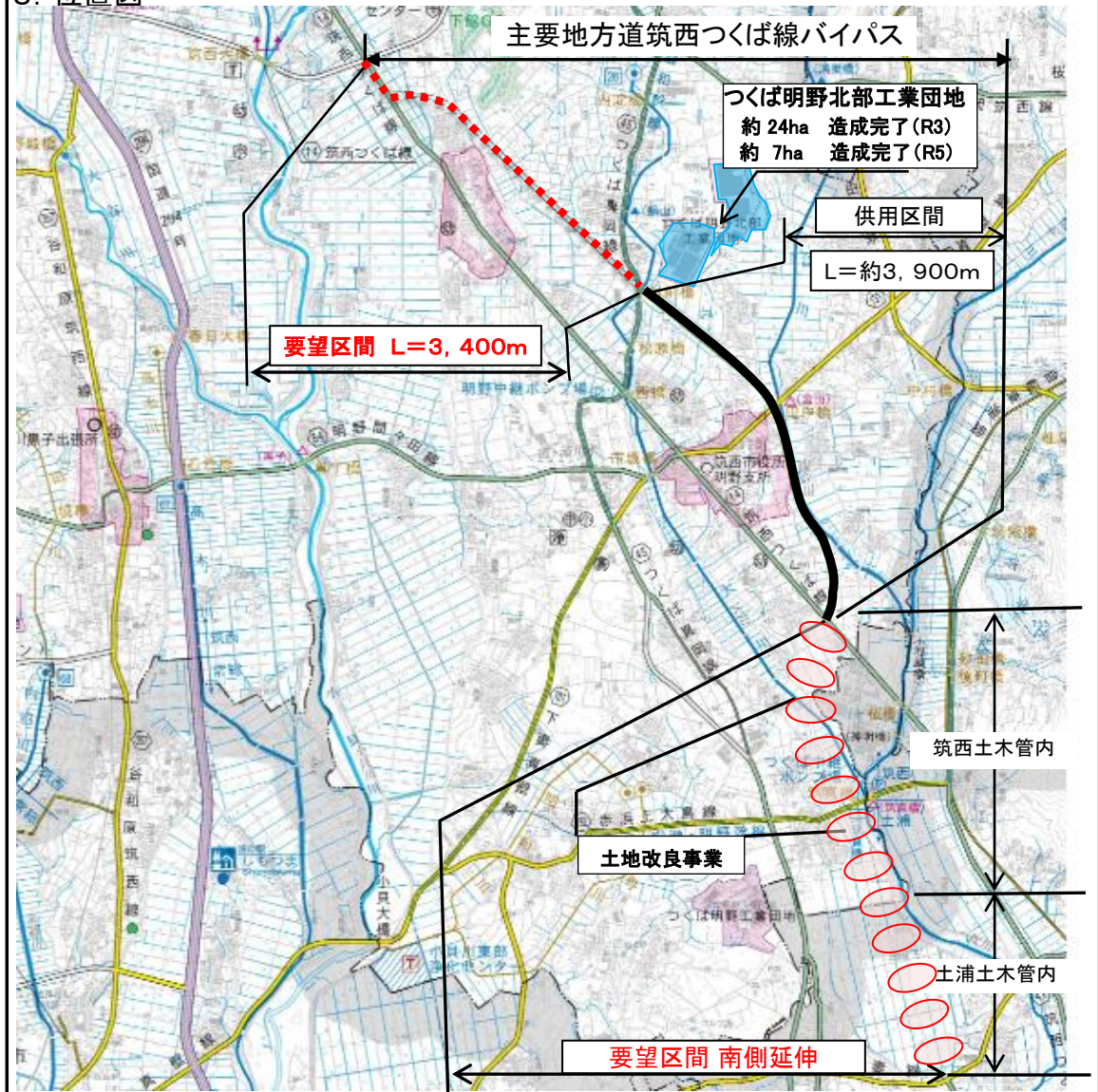
主要地方道筑西つくば線バイパス沿線においては、つくば明野北部工業団地があり、令和3年度に24ヘクタール、更に令和5年度、7ヘクタールの拡張造成が完了しており、将来的には、物流の重要な役割を担う幹線道路であります。

現在、全線約7,300mのうち中間部約3,900mが暫定2車線で供用開始されております。

さらに、北側へ延伸し筑西幹線道路へ接続することにより、国道4号方面へ、また、南側へ延伸することにより、つくば市へのアクセス機能の充実を図ることができる重要な道路であります。

このことから、企業が活動しやすい道路整備と代替性の道路ネットワークの確保のため、筑西つくば線バイパスの未供用区間約3,400mと南側延伸の早期整備促進を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	筑西市
要望事項	主要地方道筑西つくば線バイパスの整備促進
現況	本路線は、つくばエクスプレスの開業により、新たな都市発展を見込むつくば地域と筑西地域を結ぶ重要な路線である。筑西市村田から中根地内においては、現道の沿道に人家が連担し、幅員が狭く、歩道がなく、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。 本バイパスは、つくば明野北部工業団地へのアクセス道路となり、本バイパスの整備により、物流や交流の活性化が図られる。
対応状況	【概要】 主要地方道 筑西つくば線 ・箇所名：筑西市村田～中根 ・延長幅員：L=6,960m W=27m（暫定2車線） ・事業期間：平成7年度～ ・事業費：約89億円 【進捗状況】 H19：L=600m 供用（工業団地進入路～市道田宿猫島線） H21：L=500m 供用（工業団地進入路～つくば真岡線） H25：L=600m 供用（市道田宿猫島線～下妻真壁線） H29：L=2,180m 供用（下妻真壁線～筑西つくば線現道） R 5 まで 事業費 4,959 百万円（進捗率 56%） 測量、設計、用地取得、道路改良舗装工事 R 6 事業費 320 百万円（進捗率 59%） 用地取得、道路改良工事 R 7 事業費 230 百万円（進捗率 62%） 用地取得、道路改良工事
今後の対応・課題等	・つくば真岡線から北側の区間については、平成29年度から着手しており、筑西市の協力を得ながら、用地取得を進め、引き続き用地が工事を進めていく。 ・なお、本バイパスの南側への延伸については、現在整備中のバイパス整備を最優先に進めるが、ルート検討や整備手法などについて、筑西市、つくば市と協議をしていく。

要 望 書

坂東市長 木村 敏文

1 要望事項

国道354号岩井バイパスの早期4車線化及び主要地方道結城坂東線バイパス交差部の早期立体交差化について

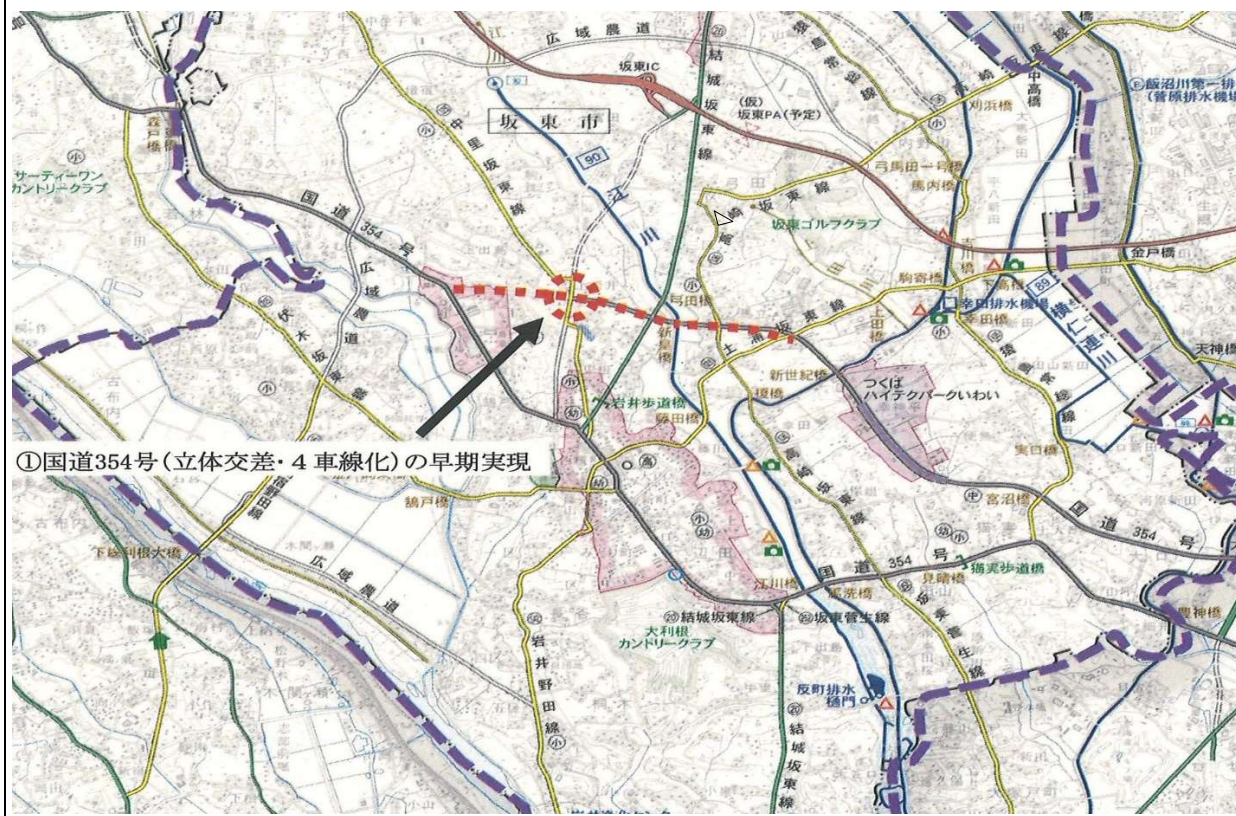
2 要望主旨

国道354号岩井バイパス（都市計画道路：大口上出島線）は、当市の中央部を東西に横断する主要幹線道路であり、平成3年12月の都市計画決定（平成7年3月都市計画変更：主要地方道結城坂東線バイパス交差部の立体化）以降、順次整備が進められ、市内においては、平成27年8月に暫定2車線（一部4車線）での全線開通がなされております。

本路線は、茨城県県西・県南地域を東西に結び、産業・観光の発展及び地域交流に大きく寄与する重要路線であります。主要地方道結城坂東線及び同路線バイパスとの交差点付近においては、慢性的な渋滞が発生しており、人流・物流の停滞や環境への負荷等、地域住民及び地域行政に及ぼす影響が懸念される状況となっております。

また、近年においては、圏央道の茨城県区間が全線開通し、今後、坂東インター工業団地の本格稼働等も予定されており、主要地方道結城坂東線バイパスからの更なる交通流入量の増加が予想されます。さらに、交差点の隣接地においては、令和8年4月の開署に向けて「坂東消防署」が建設中であり、緊急車両出動時等への影響が危惧されるため、国道354号岩井バイパスの4車線化及び主要地方道結城坂東線バイパス交差部の立体化について、早期に事業着手いただきますよう強く要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	坂東市
要望事項	国道３５４号岩井バイパスの早期４車線化及び主要地方道結城坂東線バイパス交差部の早期立体交差化について
現況	本路線は、土浦市から坂東市を経由して境町に至る、県南地域と県西地域を結ぶ広域的な幹線道路である。 また、首都圏中央連絡自動車道の坂東ＩＣへのアクセス道路であり、圏央道の４車線化の整備及び、新たな工業団地（フロンティアパーク坂東）整備により交通量の増加が見込まれることから、当該箇所の整備により交通の円滑化を図る。
対応状況	【概要】 一般国道３５４号岩井バイパス ・ 箇所名：坂東市上出島^{かみいずしま} ～ 馬立^{またて} ・ 延長幅員：L=3,600m W=25m（４車線） ・ 事業期間（暫定２車線）：平成１７年度～平成２７年度 （完成４車線）：未着手 【進捗状況】 一般国道３５４号岩井バイパス ・ H27年度まで：全線供用（暫定２車線）
今後の対応・課題等	・ 現在事業中の境岩井バイパス・古河境バイパスの事業進捗や交通量の推移、混雑状況などを勘案しながら検討していく。

要 望 書

稲敷市長 笥 信太郎

1. 要望事項

国道125号バイパスの整備促進（桜川・東地区）

2. 要望主旨

国道125号は、稲敷市から土浦方面及び鹿嶋方面を結ぶ幹線道路であり、用地等の協力体制を整え、順調に事業の推進が図られております。また、首都圏中央連絡自動車道茨城県内区間全線開通に伴い成田空港からの観光アクセスの向上、大型物流施設の生産性の向上等に大きく発展が期待できることから、早急な周辺道路の整備を必要としています。特に現道の狭隘で見通しが悪い危険箇所の解消と、歩道未整備区間における地元住民の安全な生活道路の確保のために重要な路線でありますので、早急な整備促進を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	稲敷市																
要望事項	国道１２５号バイパスの整備促進（桜川・東地区）																
現況	本路線は、県南東部を横断する幹線道路であり、緊急輸送道路に指定されている大変重要な路線である。 現道部は線形不良及び慢性的な交通渋滞が発生していることから、線形不良箇所解消や渋滞緩和を図るとともに、災害時における緊急輸送道路としての機能強化を目的として、バイパス整備事業を進めている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>事業名</td><td>①一般国道１２５号 桜川バイパス</td><td>②一般国道１２５号 （仮称）東バイパス</td></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>稲敷市阿波～稲敷市神宮寺</td><td>稲敷市伊佐部～稲敷市阿波</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=2,400m W=23m（４車線）</td><td>—</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>H16 年度～</td><td>未着手</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約 55 億円</td><td>—</td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 一般国道１２５号 桜川バイパス R 5 まで 事業費 3,713 百万円（進捗率 68%） 測量、地質調査、設計、用地取得、埋蔵文化財発掘調査、 道路改良工事、橋梁工事 R 6 事業費 297 百万円（進捗率 73%） 用地取得、道路改良工事、橋梁上部工事 R 7 事業費 210 百万円（進捗率 77%） 用地取得、道路改良工事		事業名	①一般国道１２５号 桜川バイパス	②一般国道１２５号 （仮称）東バイパス	箇所名	稲敷市阿波～稲敷市神宮寺	稲敷市伊佐部～稲敷市阿波	延長幅員	L=2,400m W=23m（４車線）	—	事業期間	H16 年度～	未着手	事業費	約 55 億円	—
事業名	①一般国道１２５号 桜川バイパス	②一般国道１２５号 （仮称）東バイパス															
箇所名	稲敷市阿波～稲敷市神宮寺	稲敷市伊佐部～稲敷市阿波															
延長幅員	L=2,400m W=23m（４車線）	—															
事業期間	H16 年度～	未着手															
事業費	約 55 億円	—															
今後の対応・課題等	① 一般国道１２５号 桜川バイパス ・残る用地の取得に努めるとともに、まとまった用地が確保された箇所の工事を進め、早期の供用を目指す。 ② 一般国道１２５号（仮称）東バイパス ・桜川バイパスの事業進捗や、交通量の推移を勘案しながら検討していく。																

要 望 書

かすみがうら市長 宮嶋 謙

1 要望事項

一般県道 牛渡馬場山土浦線の歩道整備促進

2 要望主旨

一般県道牛渡馬場山土浦線（央倉・下稲吉）は3市（かすみがうら市・土浦市・石岡市）が一体となって整備を進めている災害拠点病院である土浦協同病院（土浦市おおつ野地区）へのアクセスする広域的な幹線道路の一部を構成する道路であります。（当市整備路線は、歩車分離道路）

当区間は市街化区域でありながら歩道未整備区間があり、地元や学校関係者からも強い歩道設置要望が出されております。また、ウエルネスプラザ（市保健福祉施設）のアクセス路線にもなっていることや神立駅橋上化に伴い、当駅からの近接地でもあることから歩行者の往来も高まっております。

このため、歩行者及び自転車の安全と交通の円滑化を図るためにも当区間の歩道整備の早期促進を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路維持課

市町村	かすみがうら市
要望事項	県道牛渡馬場山土浦線の歩道整備促進
現況	本路線は、かすみがうら市から土浦市を結ぶ幹線道路である。当該箇所は、市立霞ヶ浦南小学校の通学路として利用されているが、歩道がないため通学児童及び自転車が車道にはみ出して通行しており大変危険な状況にある。
対応状況	全体計画 延長幅員：L=1,100m、W=2.0m(両側) 事業期間：令和2年度～ 事業費：450百万円 進捗率：39%（R6末時点） （交付金工区） 延長幅員：L=430m、W=2.0m×2(両側) 事業期間：令和2年度～ 事業費：250百万円 R5まで 事業費80百万円（進捗率32%） 路線測量、設計、用地測量、用地補償、工事 R6 事業費30百万円（進捗率44%） 用地補償 R7 事業費30百万円（進捗率56%） 工事、用地補償 （個別補助工区） 延長幅員：L=670m、W=2.0m(両側) 事業期間：令和4年度～ 事業費：200百万円 R5まで 事業費33百万円（進捗率17%） 路線測量、設計、用地測量、用地補償 R6 事業費32百万円（進捗率33%） 用地補償 R7 事業費90百万円（進捗率78%） 用地補償、工事
今後の対応・課題等	引き続き、事業進捗を図っていく。

要 望 書

桜川市長 大塚 秀喜

1 要望事項

一般県道東山田岩瀬線の整備促進について

2 要望主旨

一般県道東山田岩瀬線は、桜川市真壁町東山田から、筑西市(旧明野町)・谷貝地区・大和地区を経て国道50号に至り、さらに北関東自動車道桜川筑西ICへのアクセス道路であります。また、周辺住民の生活道路としても、大変重要な役割を果たす基幹となる道路であります。現道の幅員は狭隘で、整備要望区間はセンターラインも無く見通しが悪いため危険な状況であります。また、北関東自動車道が全線開通したことにより交通量が増加し事故が多発しております。

用地買収の済んだ区間から、順次工事に取り組んでいただいているところであり、整備要望区間については、現道への歩道整備を進めていただきましたが、更なる用地取得を図り、順次工事を促進していただきたく要望いたします。災害防止、安全・円滑な交通の確保を図るため早期整備に向けて優先的に取り組んでいただくことを要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	桜川市												
要望事項	一般県道東山田岩瀬線の整備促進について												
現況	一般県道東山田岩瀬線は、桜川市真壁町椎尾から筑西市宮後、桜川市大国玉を経て国道 50 号に至る生活道路であり、幅員も狭く、歩道もないことから、現道拡幅工事やバイパス工事を進めている。												
対応状況	【概要】 一般県道東山田岩瀬線 ・ 箇所名：筑西市宮後～桜川市大国玉 ・ 延長幅員：L=8,280m W=12m(2車線) ・ 事業期間：平成7年度～ ・ 事業費：約55億円 【進捗状況】 ・ 供用延長：L=5,480m <table><tr><td>1工区</td><td>:</td><td>2,540m (筑西市宮後地内)</td><td>L=2,540m 供用</td></tr><tr><td>2工区</td><td>:</td><td>2,680m (桜川市下谷貝地内)</td><td>L=1,040m 供用</td></tr><tr><td>3工区</td><td>:</td><td>3,060m (桜川市上谷貝地内)</td><td>L=1,900m 供用</td></tr></table> R5まで 事業費 4,130百万円 (進捗率75%) 用地取得、道路改良舗装工事 R6 事業費 65百万円 (進捗率77%) 用地取得、道路改良舗装工事 R7 事業費 110百万円 (進捗率79%) 用地取得、埋蔵文化財発掘調査、道路改良舗装工事	1工区	:	2,540m (筑西市宮後地内)	L=2,540m 供用	2工区	:	2,680m (桜川市下谷貝地内)	L=1,040m 供用	3工区	:	3,060m (桜川市上谷貝地内)	L=1,900m 供用
1工区	:	2,540m (筑西市宮後地内)	L=2,540m 供用										
2工区	:	2,680m (桜川市下谷貝地内)	L=1,040m 供用										
3工区	:	3,060m (桜川市上谷貝地内)	L=1,900m 供用										
今後の対応・課題等	・ 1工区については、H29.3に全線供用済み。 ・ 2、3工区については、用地取得を推進するとともに、用地のまとまった区間から順次工事を実施していく。												

要 望 書

神栖市長 石田 進

1 要望事項

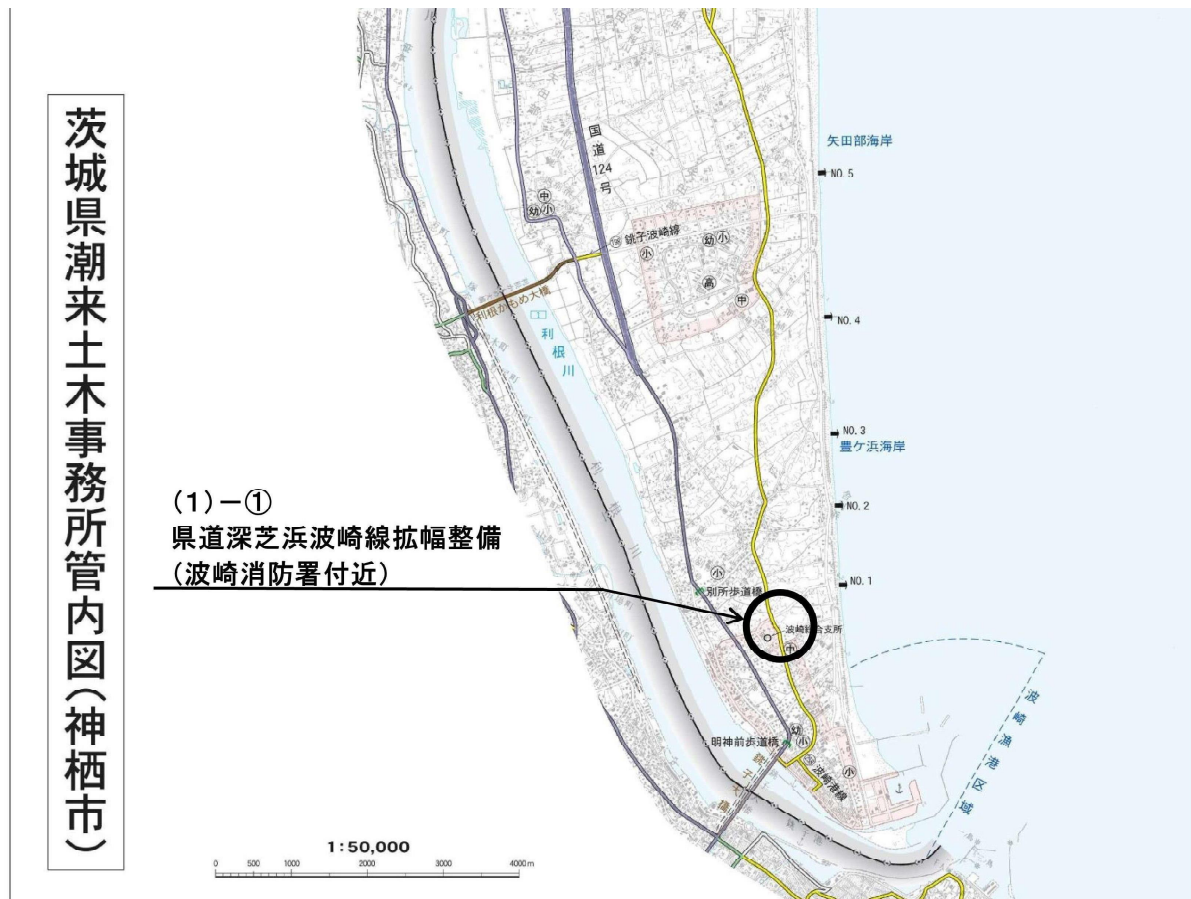
県道深芝浜波崎線拡幅整備（波崎消防署付近）

2 要望主旨

県道深芝浜波崎線は、幅員が狭隘で拡幅が望まれています。現在植松（交差点）地区まで拡幅工事が進行してきていますが、鹿島臨海工業地帯への通勤者で慢性的な混雑が発生しており、全線において、早期拡幅整備が必要であります。

特に、未拡幅区間において、波崎消防署付近の交差点の一部整備に伴い、より円滑な動線を確保する必要があるため、前後区間の拡幅整備を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課・道路維持課

市町村	神栖市																						
要望事項	県道深芝浜波崎線拡幅整備（波崎消防署付近）																						
現況	一般県道深芝浜波崎線は、神栖市を南北に縦貫し、国道１２４号を補完する道路であり、鹿島臨海工業地帯へのアクセス機能の充実、朝夕の交通混雑の緩和、通学児童の安全確保など、地域経済活動に多大な効果が期待されることから整備が求められている。																						
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <th>各事業概要</th><th>① 【西松下交差点～市道 2158 号線】</th><th>② 【市道 2158 号線～東舎利交差点】</th><th>③ 【東舎利交差点～県道波崎港線との交差点（波崎消防署付近含む）】</th></tr> <tr> <td>計画延長</td><td>2,360m</td><td>3,900m</td><td>2,890m</td></tr> <tr> <td>計画幅員</td><td>W=14m（２車線）</td><td>W=14m（２車線）</td><td>－</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>H18～</td><td>H27～</td><td>～H25（歩道のみ）</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約 16 億</td><td>検討中</td><td>約 11 億（歩道のみ）</td></tr> </table> 【進捗状況】 ≪道路建設課≫ ① 事業中区分（西松下交差点から市道 2158 号線まで） R 2：L=1,560m 供用 R 5 事業費 35 百万円（進捗率 83%） R 6 事業費 39 百万円（進捗率 85%）用地取得 R 7 事業費 15 百万円（進捗率 86%）用地取得、道路改良工事 ② 未整備区分（市道 2158 号線から東舎利交差点まで） R 1 まで 事業費 46 百万円 測量設計、用地取得、補償調査、 道路改良工事（神栖市波崎（舎利）狭小区間） ③ 未整備区分（東舎利交差点から県道波崎港線との交差点まで） H25：歩道整備のみ完了 H25 まで事業費 1,093 百万円 測量・設計、用地取得、歩道整備工事、交差点改良工事			各事業概要	① 【西松下交差点～市道 2158 号線】	② 【市道 2158 号線～東舎利交差点】	③ 【東舎利交差点～県道波崎港線との交差点（波崎消防署付近含む）】	計画延長	2,360m	3,900m	2,890m	計画幅員	W=14m（２車線）	W=14m（２車線）	－	事業期間	H18～	H27～	～H25（歩道のみ）	事業費	約 16 億	検討中	約 11 億（歩道のみ）
各事業概要	① 【西松下交差点～市道 2158 号線】	② 【市道 2158 号線～東舎利交差点】	③ 【東舎利交差点～県道波崎港線との交差点（波崎消防署付近含む）】																				
計画延長	2,360m	3,900m	2,890m																				
計画幅員	W=14m（２車線）	W=14m（２車線）	－																				
事業期間	H18～	H27～	～H25（歩道のみ）																				
事業費	約 16 億	検討中	約 11 億（歩道のみ）																				
今後の対応・課題等	① 事業中区分 ・用地取得を行っていく。 ・用地取得箇所から整備を進めていく。 ②未整備区分 ・①工区の整備を優先とし、交通状況を勘案しながら検討していく。 ③未整備（歩道整備済み）区分【波崎消防署付近】 ・①、②工区の整備を優先とし、交通状況を勘案しながら検討していく。																						

要 望 書

行方市長 鈴木 周也

1 要望事項

国道355号バイパスの整備促進について（行方市麻生地内から島並地内）

2 要望主旨

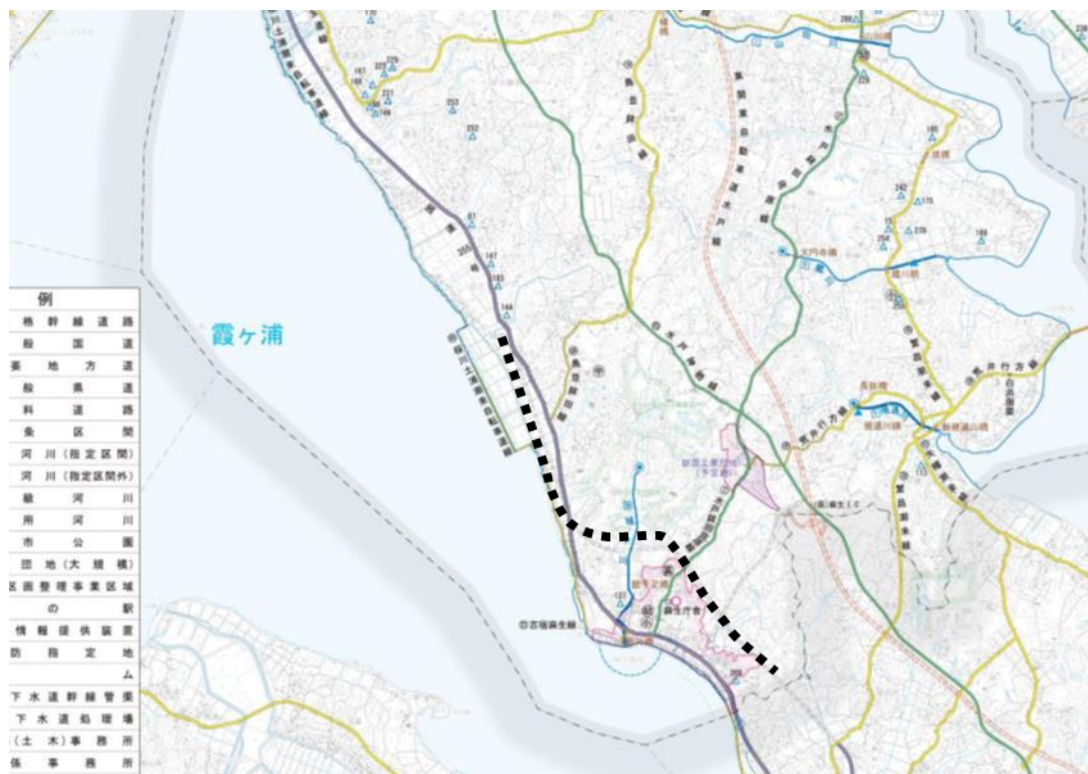
国道355号は、本市を縦断し、市民生活や産業活動に不可欠な動線として機能する極めて重要な幹線道路です。

現在、市街地における交通渋滞の緩和および安全性の向上を目的として、牛堀地区から麻生地区を結ぶバイパス整備が進められております。さらに、将来的には牛堀麻生バイパスに加え、東関東自動車道水戸線の開通も予定されており、これにより一般車両のみならず大型車両の通行量の増加が見込まれます。

こうした状況を踏まえ、市街地の交通混雑の回避、交通安全の確保、地域住民の生活環境の向上、さらには本市における産業の持続的な発展に寄与するものとして、バイパス計画の更なる延伸を強く要望いたします。

3 位置図

国道355号バイパスの整備促進



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	行方市
要望事項	国道３５５号バイパスの整備促進
現況	国道３５５号は、千葉県香取市から笠間市を結ぶ南北方向の幹線道路であり、市民生活や産業活動に欠かすことのできない重要な幹線道路である。 国道３５５号のバイパス整備により、行方市街地に流入する交通量を分散させ、交通渋滞の緩和と安全な走行空間の確保を図るため、バイパス整備事業を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道３５５号牛堀麻生バイパス ・箇所名①：潮来市牛堀 ～ 行方市麻生 ・延長幅員：L=5,000m W=25m（暫定２車線整備） ・事業期間：平成９年度～ ・事業費：約１８０億円 ・箇所名②：行方市麻生 ～ 橋門 ・延長幅員：L=5,860m W=25m（暫定２車線整備） ・事業期間：未事業化 【進捗状況】 H26：L=1,200m 供用 R 4：L=840m 供用 R 5まで 事業費 14,213 百万円（進捗率 79%） 詳細設計、用地測量、物件調査、用地取得、道路改良舗装工事 R 6 事業費 525 百万円（進捗率 82%） 道路改良舗装工事 R 7 事業費 293 百万円（進捗率 84%） 道路改良舗装工事
今後の対応・課題等	① 潮来市牛堀～行方市麻生 ・潮来市内の約２km が供用した。 ・引き続き工事を進め早期供用を目指す。 ② 行方市麻生～橋門 ・①工区の事業進捗や交通量の推移を勘案しながら検討していく。

要 望 書

銚田市長 岸田一夫

1 要望事項

都市計画道路当間靱負線及び主要地方道水戸銚田佐原線の整備促進

2 要望主旨

銚田市において、都市計画道路当間靱負線は、東関東道自動車道水戸線の関連アクセス道路として、銚田ＩＣ周辺と新市街地を東西に結び、中心市街地への車両流入を抑制するとともに、地域経済の活性化に寄与する重要な幹線道路であります。東関東自動車道水戸線の開通が令和８年度に迫り、市内外の活発な交流が期待される中、市内では大型車などの交通量が増加し、周辺的生活道路へ流入した場合、安全で快適な交通確保に支障をきたすことが予想されます。さらに、安房南地区を新庁舎・公共施設の建設候補地としていることから、新庁舎等が建設されると、その周辺の交通量の増加が見込まれるため、銚田市の都市構造の再編と円滑な交通ネットワーク形成に向けて、都市計画道路当間靱負線及び主要地方道水戸銚田佐原線と一般県道下太田銚田線との交差点改良の整備を強く望むものです。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	銚田市
要望事項	都市計画道路 ^{とうまゆきい} 当間靱負線及び主要地方道水戸銚田佐原線の整備促進
現況	都市計画道路当間靱負線は東関道銚田 IC へアクセス道路であり、銚田茨城線として銚田市飯名地内の整備を進めている。 また、水戸銚田佐原線と下太田銚田線の交差点は右折レーンが無く、市役所の移転に伴いさらなる交通量の増加が見込まれる。
対応状況	【概要】都市計画道路 当間靱負線 路 線 名：一般県道銚田茨城線（茨城鹿島線～銚田茨城線） 箇 所 名：銚田市飯名 延長幅員：L=1,500m W=27m（暫定2車線整備） 事業期間：H22年度～ 事業費：約29億円 【進捗状況】 H30までに茨城鹿島線～銚田 IC 区間 L=400m 供用済み R 5 まで 事業費 1,463 百万円（進捗率 51%） 詳細設計、用地測量、物件調査、用地取得 R 6 事業費 262 百万円（進捗率 60%） 用地取得、工事 R 7 事業費 213 百万円（進捗率 68%） 用地取得、工事
今後の対応・課題等	・銚田インターチェンジから銚田茨城線までの区間については、引き続き、道路改良工事を進める。 ・都市計画道路当間靱負線の未着手区間および水戸銚田佐原線の交差点については、新市庁舎周辺の整備計画を踏まえ検討を進める。

要 望 書

つくばみらい市長 小田川 浩

1. 要望事項

主要地方道つくば野田線整備促進について

2. 要望主旨

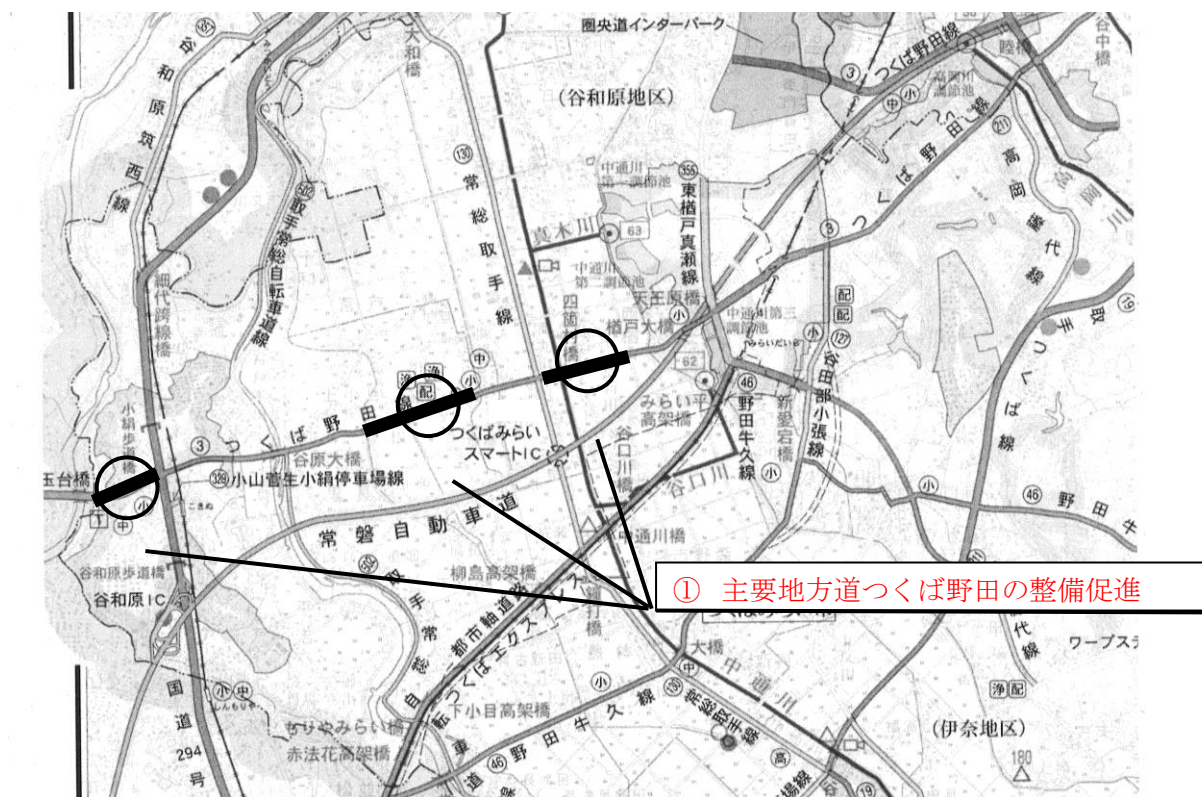
つくば野田線は、つくば市を起点に当市を經由して千葉県野田市に至る全長約27kmの広域的な主要幹線道です。

つくばエクスプレス線の開業に伴うみらい平地区や沿線開発の進展により、大型車を含めた交通量は年々増加しており、国道294号交差点では交通渋滞が慢性化していることから、渋滞緩和のために国道294号小絹東交差点から玉台橋東交差点間の4車線化が必要と考えられます。

また、当路線は、すでに茨城県により道路改良工事が進められておりますが、東櫛戸から上小目間においては、幅員が狭い箇所や歩道が未整備の箇所が点在し、歩行者や自転車が安全に通行できる状況にありません。

つくばみらいスマートICの整備により、ますます交通量が増加することが見込まれることから、今後とも整備のより一層の進捗を図るとともに、早期の全線改良工事完成を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	つくばみらい市																			
要望事項	主要地方道つくば野田線整備促進																			
現況	つくば野田線は、つくば市を起点に千葉県野田市に至る全長約27kmの広域的な主要幹線道である。 国道294号交差点では交通渋滞が慢性化していることから、渋滞緩和のために国道294号小絹東交差点から玉台橋東交差点間の4車線化を進めている。 東檜戸から上小目間においては、幅員が狭い箇所や歩道が未整備の箇所が点在しており、歩行者や自転車の安全確保のため整備を進めている。																			
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <th>地区名</th><th>①主要地方道 つくば野田線</th><th>②都市計画道路 玉台橋・西檜戸線</th></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>つくばみらい市加藤</td><td>つくばみらい市小絹</td></tr> <tr> <td>区分</td><td>道路事業</td><td>街路事業</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=4,370m W=18~16m（2車線）</td><td>L=595m W=25m（4車線）</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>H4～</td><td>R2～</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約99億円</td><td>約7億円</td></tr> </table> 【進捗状況】 ①（主）つくば野田線 R5まで 事業費：6,174百万円（進捗率62%） 用地取得、工事 R6 事業費：91百万円（進捗率63%） 用地取得、工事 R7 事業費：占用工事 ②（都）玉台橋・西檜戸線 R5まで 事業費：108百万円（進捗率：15%） 設計、測量、補償調査、用地取得 R6 事業費：9百万円（進捗率：17%） 設計、交通量推計 R7 事業費：82百万円（進捗率：28%） 用地取得		地区名	①主要地方道 つくば野田線	②都市計画道路 玉台橋・西檜戸線	箇所名	つくばみらい市加藤	つくばみらい市小絹	区分	道路事業	街路事業	延長幅員	L=4,370m W=18~16m（2車線）	L=595m W=25m（4車線）	事業期間	H4～	R2～	事業費	約99億円	約7億円
地区名	①主要地方道 つくば野田線	②都市計画道路 玉台橋・西檜戸線																		
箇所名	つくばみらい市加藤	つくばみらい市小絹																		
区分	道路事業	街路事業																		
延長幅員	L=4,370m W=18~16m（2車線）	L=595m W=25m（4車線）																		
事業期間	H4～	R2～																		
事業費	約99億円	約7億円																		
今後の対応・課題等	①（主）つくば野田線 ・占用工事との調整を図り、橋梁工事に着手する。 ②（都）玉台橋・西檜戸線 ・引き続き用地取得を進め、まとまった用地が確保できた箇所から順次工事に着手していく。																			

要 望 書

小美玉市長 島 田 幸 三

1 要望事項

主要地方道玉里水戸線バイパスの整備促進

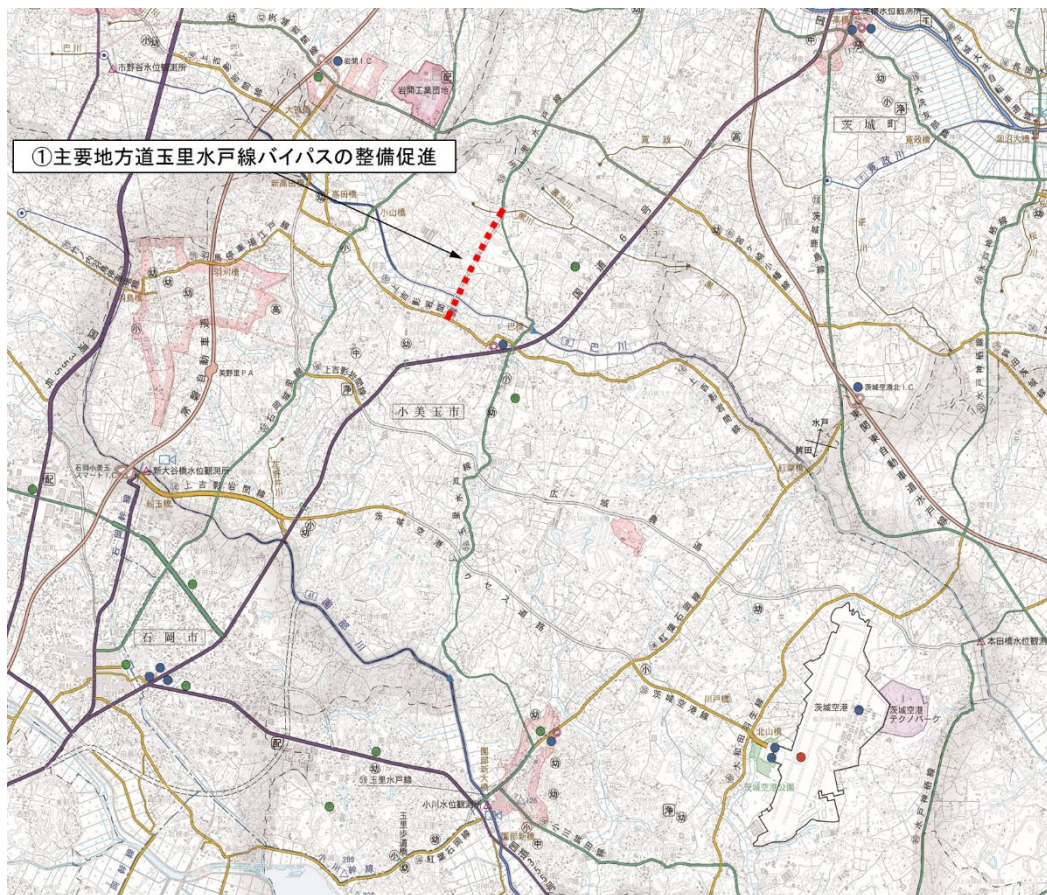
2 要望主旨

平成22年3月に開港した『茨城空港』は、多岐にわたる波及効果が期待できるとともに、今後のまちづくりを展開していくうえで、最も重要な役割を担うものと考えております。また、道路は豊かな生活文化、活力ある経済社会活動を支える最も基本的かつ重要な社会資本であり、その整備に地域住民の熱い期待が寄せられております。

本路線は、国道6号と常磐自動車道の間位置し、これらを補完する役割を担っているとともに沿線地域の経済及び生活の基盤として利用されています。しかしながら、本路線は幅員狭小箇所があり度々渋滞などの障害を起こし、一般通行や付近住民の生活に多大な影響を及ぼしている状況です。

つきましては、道路が産業経済発展の基盤となる大変重要なものであることや、本路線の整備によって「茨城空港」や「国道6号小美玉道路（仮称）」へのアクセスルートの一つになることから、バイパス区間の整備推進を強く要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	小美玉市
要望事項	主要地方道玉里水戸線バイパスの整備促進
現況	本路線は、小美玉市の国道 355 号から水戸市の国道 50 号に至る幹線道路である。小美玉市先後から堅倉地内においては、現道の幅員が狭く、屈曲し、歩道がないなど、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。
対応状況	【概要】 主要地方道玉里水戸線 ・箇所名：小美玉市先後～堅倉 ・延長幅員：L=2,220m W=15m（2車線） ・事業期間：平成6年度～ ・事業費：約16億円 【進捗状況】 R5まで 事業費 938 百万円（進捗率 59%） 測量、設計、用地取得、道路改良工事 R6 事業費 250 百万円（進捗率 74%） 用地取得、道路改良工事 R7 事業費 100 百万円（進捗率 81%） 用地取得、道路改良舗装工事
今後の対応・課題等	・引き続き、用地取得、道路改良工事を進める。

要 望 書

茨城町長 小林 宣夫

1 要望事項

主要地方道大洗友部線（小鶴～越安）の整備促進について

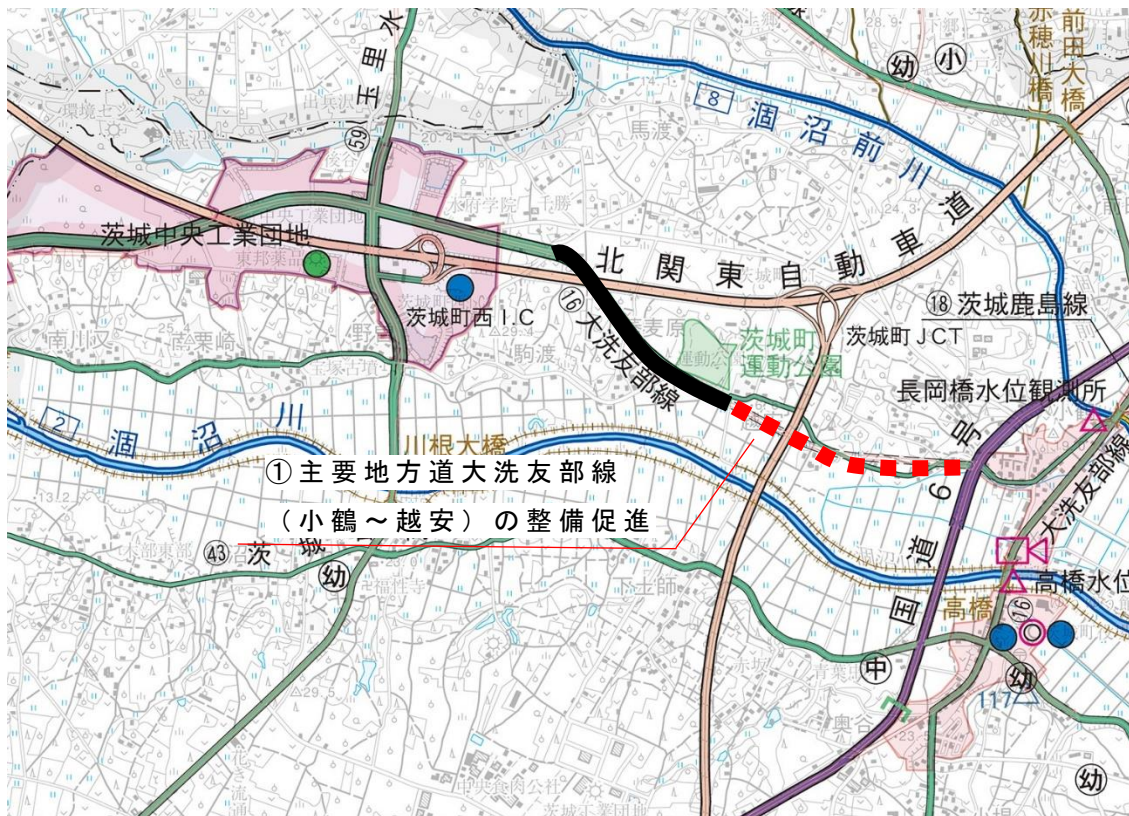
2 要望主旨

主要地方道大洗友部線は、大洗町から当町を経由して、旧友部町を結ぶ幹線道路であり、沿線住民の生活道路としてはもちろんのこと、茨城中央工業団地及び北関東自動車道（茨城町西IC）へのアクセス道路としても重要な役割を担っており、町の発展には欠かせない路線でございます。

しかしながら、当該路線は狭隘で屈曲箇所が多いことから、車両同士のすれ違いに支障をきたしております。また、歩道についても一部を除き未整備となっており、歩行者の安全確保が危惧されております。

このような中、現在精力的に用地買収及び改良工事が進められており、既に茨城中央工業団地区間が開通し、令和5年度には更に約1,300mの区間（越安地内～駒渡地内）が開通いたしました。全線開通に向け一層の整備促進を要望致します。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	茨城県
要望事項	主要地方道大洗友部線（小鶴～越安）の整備促進について
現況	本路線は、大洗町から国道6号を経由して、笠間市に至る県央部の東西方向の幹線道路である。現道は、未改良部分が多く、幅員が狭小で、大型車のすれ違いが困難であるなど、幹線道路としての機能を十分に発揮していない状況であることから、バイパス整備を実施している。 また、本バイパス沿線には、茨城中央工業団地（H12 分譲開始）が事業中であり、本バイパスの整備により、茨城県西 IC、国道6号への連絡強化が図られ、企業立地の促進に寄与することが期待される。
対応状況	【概要】 主要地方道 大洗友部線 ・箇所名：茨城県小鶴～笠間市仁古田 ・延長幅員：L=6,850m W=27.0m（4車線） ・事業期間：平成7年度～ ・事業費：約114億円 【進捗状況】 H12：L=1,720m 供用 H15：L=1,140m 供用 H22：L= 860m 供用 R 2：L= 400m 供用 R 5：L=1,300m 供用（うち400m 暫定2車線供用） R 5まで 事業費 10,116 百万円（進捗率 89%） 測量、設計、用地取得、道路改良工事 R 6 事業費 530 百万円（進捗率 93%） 用地取得、道路改良舗装工事 R 7 事業費 400 百万円（進捗率 97%） 用地取得、道路改良舗装工事
今後の対応・課題等	・引き続き、用地取得、道路改良舗装工事を進める。

要 望 書

大洗町長 國井 豊

1 要望事項

都市計画道路吉沼磯浜線の早期事業化

2 要望主旨

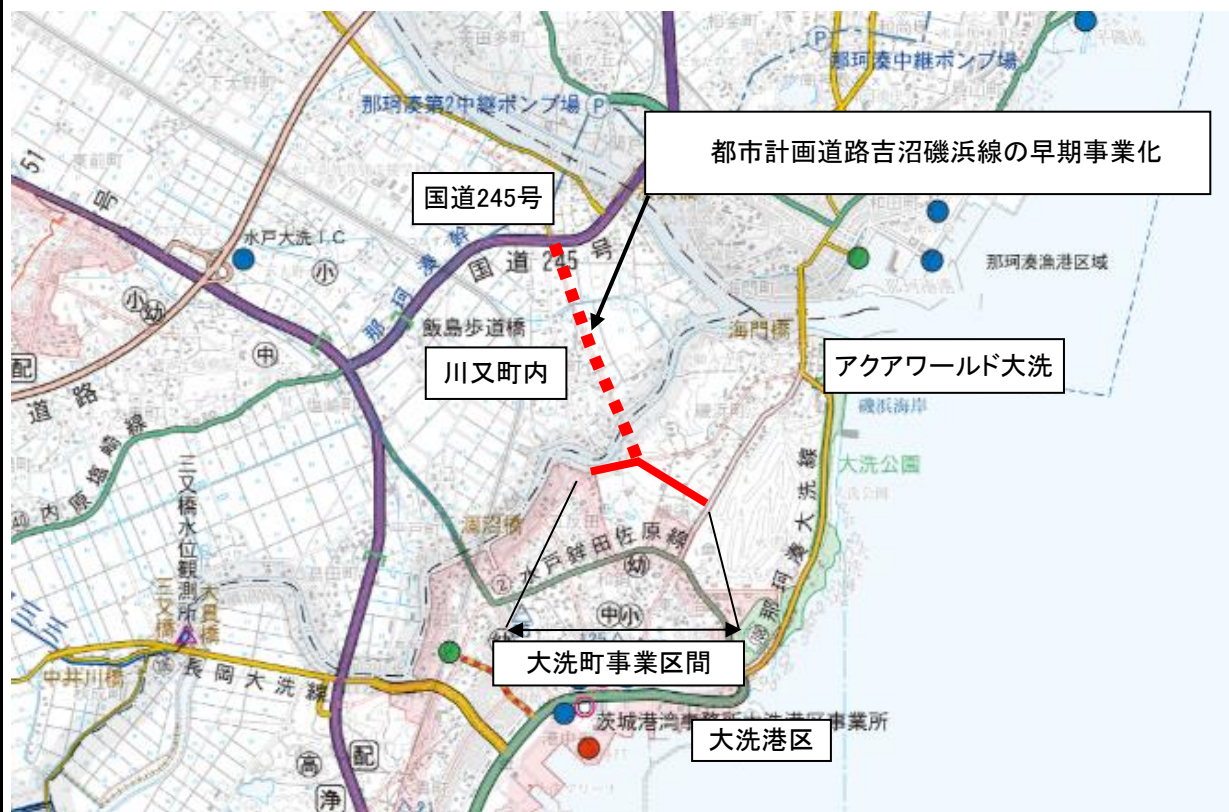
本町の道路事情は、北関東自動車道や東関東自動車道水戸線の整備により東京圏との結びつきが強化され、大洗サンビーチや大洗港周辺から、アクアワールド茨城県大洗水族館やひたちなか市の臨海部を周遊する来訪者が増加したことで慢性的な渋滞が発生し、特に週末などは町民の日常生活にも支障をきたしております。

また、原子力研究開発施設が立地する地域特性から、観光客が集中した状況のなかでの原子力事故等を想定すると、緊急時の円滑な避難ルートを確認するための新しい広域アクセス道路が必要となっております。

過去には、東日本大震災において海門橋、湊沼橋が通行止めになった事例もあり、震災時に町の孤立を防ぐことに加え、対岸の水戸市川又町内からの円滑な高台避難の観点からも市町村の枠を超えた広域的な防災体制の確立が求められており、広域的な幹線道路ネットワークとしての機能を有した新たな道路の整備が急務であることから、令和3年度には町単独事業にて本路線の概略設計を実施し、具体的な道路構造及び概算事業費等の検討を行いました。

このようなことから、平常時のみならず緊急時における交通機能強化を図るため、新しいアクセス道路として、都市計画道路吉沼磯浜線(大洗町～国道245号)の早期事業化を要望します。

3 位置 図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	大洗町
要望事項	都市計画道路吉沼磯浜線の早期事業化
現況	都市計画道路 吉沼磯浜線 ・箇所名 : 水戸市～大洗町 ・延長幅員 : L=1,700m W=16m ※未着手
対応状況	H26～R 7 大洗町から要望（未着手）
今後の対応・課題等	・整備主体や手法等について、市町と協議しながら検討していく。

要 望 書

城里町長 上遠野 修

1 要望事項

国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進について

2 要望主旨

国道123号は、水戸市と栃木県宇都宮市を結ぶ広域幹線道路であり、本町を南北に縦断し、町の骨格を形成する道路であります。城里町坏地区から栗地区の区間につきましては、一部着工はしていますが国道123号との連絡道路が狭隘な危険箇所となっており、交通渋滞が発生しています。

平成22年2月より工事着手していただき、令和2年4月には優先整備区間が開通し、交通の支障となっていた手這坂や市街地の渋滞の解消が図られました。引き続き、危険箇所及び渋滞の解消のため本事業の一刻も早い完成が望まれていることから、本町の重要課題として国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	城里町																
要望事項	国道１２３号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進																
現況	本路線は、栃木県宇都宮市と本県の水戸市を結ぶ幹線道路であり、観光、産業の振興や地域住民の日常生活に欠かすことのできない重要な路線である。 しかし、那珂川大橋は、幅員が狭く、大型車とのすれ違いなどの交通に支障となっていることや、城里町市街地における交通渋滞が発生しているため、円滑な交通の確保に向けた整備事業を進めている。																
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>事業名</td><td>①一般国道１２３号 那珂川大橋</td><td>②一般国道１２３号 桂常北バイパス</td></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>常陸大宮市野口～城里町御前山</td><td>城里町栗～城里町石塚</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=800m W=12m（２車線）</td><td>L=3,300m W=28m（暫定２車線）</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>R２年度～</td><td>H12年度～</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約 65 億円</td><td>約 60 億円</td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 一般国道１２３号那珂川大橋 R５まで 事業費 585 百万円（進捗率 9％） 測量調査、道路設計、用地測量 R６ 事業費 160 百万円（進捗率 11％） 用地取得 R７ 事業費 1,020 百万円（進捗率 27％） 用地取得、橋梁下部工事 ② 一般国道１２３号桂常北バイパス H26：L=820m 供用 H27：L=680m 供用 R２：L=500m 供用 R５まで 事業費 4,566 百万円（進捗率 76％） 測量調査・道路設計・用地取得・道路改良舗装工事・橋梁工事 R６ 事業費 98 百万円（進捗率 78％） 用地取得 R７ 事業費 80 百万円（進捗率 79％） 用地取得		事業名	①一般国道１２３号 那珂川大橋	②一般国道１２３号 桂常北バイパス	箇所名	常陸大宮市野口～城里町御前山	城里町栗～城里町石塚	延長幅員	L=800m W=12m（２車線）	L=3,300m W=28m（暫定２車線）	事業期間	R２年度～	H12年度～	事業費	約 65 億円	約 60 億円
事業名	①一般国道１２３号 那珂川大橋	②一般国道１２３号 桂常北バイパス															
箇所名	常陸大宮市野口～城里町御前山	城里町栗～城里町石塚															
延長幅員	L=800m W=12m（２車線）	L=3,300m W=28m（暫定２車線）															
事業期間	R２年度～	H12年度～															
事業費	約 65 億円	約 60 億円															
今後の対応・課題等	① 一般国道１２３号那珂川大橋 ・引き続き、用地取得を進めるとともに、今年度、橋梁下部工事に着手する。 ② 一般国道１２３号桂常北バイパス ・引き続き、残る約 1.3km 区間の用地取得を進める。																

要 望 書

東海村長 山田 修

1 要望事項

「国道245号久慈大橋」の4車線化に向けた整備促進について

2 要望主旨

国道245号は、重要港湾の茨城港常陸那珂港区と日立港区を結ぶことから、広域的な産業経済の活性化に加え、災害時の区域避難や緊急輸送道路の役割を担う重要な路線であります。

国道245号勝田拡幅（ひたちなか市から久慈大橋手前までの区間）は、令和5年3月末に4車線化が完了しておりますが、残る久慈大橋の2車線区間を要因とした朝夕を中心とした慢性的な交通渋滞が、地域経済活動の停滞や日常生活にも影響を及ぼしております。

また、老朽化した久慈大橋の架け替えに併せ、令和4年10月に現橋の下流側に4車線一体橋梁を新たに架設するための都市計画変更を行ったことから、引き続き、地元住民の理解を得ながら整備推進を図る必要がございます。

つきましては、国道245号久慈大橋の4車線化の早期完成に向け、整備促進を要望いたします。

3 位置図

① 「国道245号久慈大橋」の4車線化に向けた整備促進について



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	東海村
要望事項	国道 2 4 5 号久慈大橋の 4 車線化に向けた整備促進
現況	本路線は、水戸市から日立市へ至る茨城県北部地域の沿岸部を南北に縦断する緊急輸送道路であることから、大変重要な路線である。 しかし、交通量が非常に多く慢性的な交通渋滞が発生しているため、円滑な交通の確保に向けた整備事業を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道 2 4 5 号久慈大橋 ・箇所名 : 東海村豊岡 ～ 日立市留町 ・延長幅員 : L=1,000m W=22m (4 車線) ・事業期間 : 令和元年度 ～ ・事業費 : 約 100 億円 【進捗状況】 R 5 まで 事業費 568 百万円 (進捗率 6%) 路線測量、地質調査、橋梁詳細設計、道路詳細設計、用地取得 R 6 事業費 274 百万円 (進捗率 8%) 用地取得、工事用道路工事 R 7 事業費 460 百万円 (進捗率 13%) 用地取得、橋梁下部工事
今後の対応・課題等	・引き続き、用地取得を進めるとともに、今年度、橋梁下部工事に着手する。

要 望 書

大子町長 高 梨 哲 彦

1 要望事項

一級河川久慈川の改修促進について

2 要望主旨

久慈川は、その水源を県内最高峰の八溝山に発する流域面積1,490k㎡を有する一級河川ですが、台風や集中豪雨の際には、久慈川の氾濫による浸水被害が度々発生しており、平成3年9月洪水を契機として、平成4年度から洪水防止のため全体計画5,500mの河川改修事業（築堤、護岸、河床掘削）に着手し、小久慈工区（550m）、北田気工区（830m）、大子工区（1,200m）の区間が平成21年度までに完成しております。

しかしながら、令和元年東日本台風の際には記録的な豪雨により、久慈川の河道流域の多くの地区に浸水被害が発生するとともに、久慈川に並行して走る国道118号や主要地方道大子那須線が冠水し、近年の激甚化する豪雨災害の被害が今後一層懸念されている状況であります。

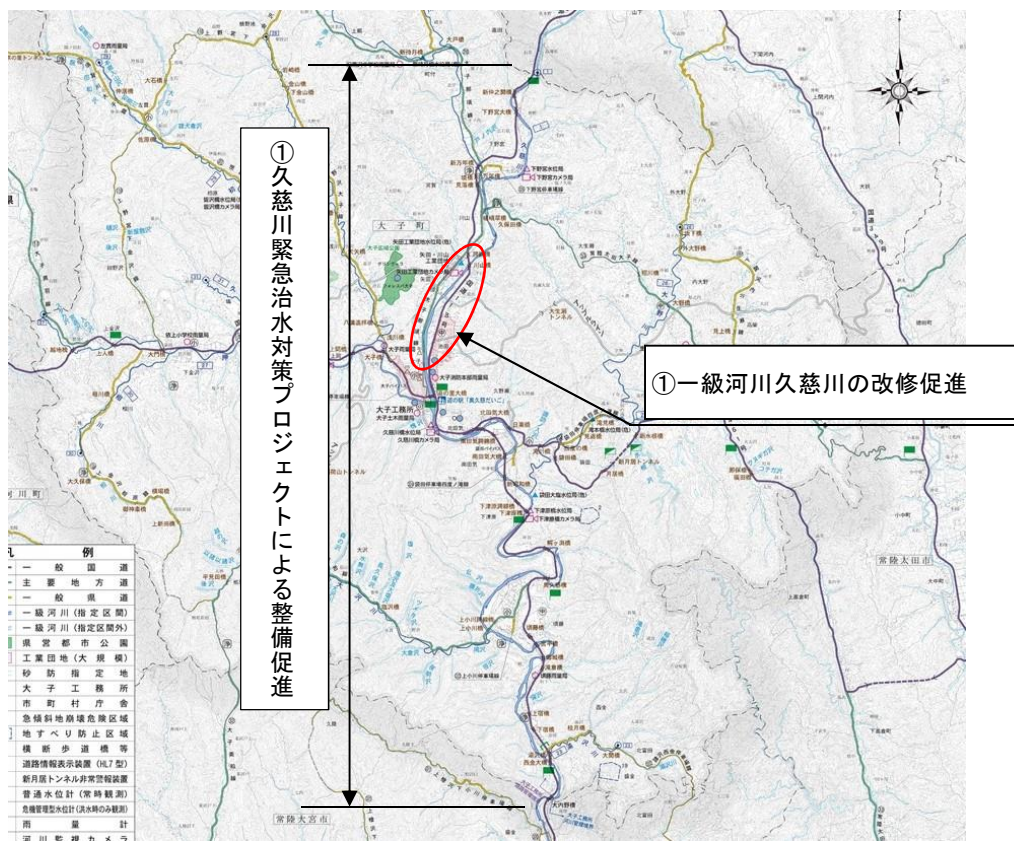
これらのことから、一級河川久慈川の河川改修事業の促進及び久慈川緊急治水対策プロジェクトによる早急な整備を要望いたします。

久慈川改修全体計画（北田気～川山）L=5,500m

要望箇所 矢田工区 L=2,370m

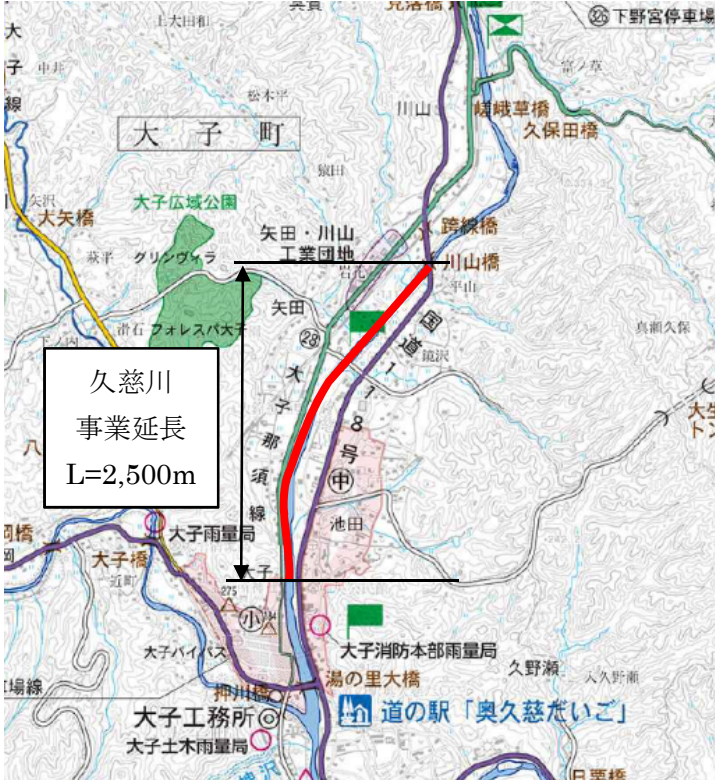
池田工区 L=1,400m

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	大子町
要望事項	一級河川久慈川の改修促進
現況	久慈川は、町道池田橋から国道118号川山橋までの2,500mについて、河川改修を進めている。
対応状況	・事業延長 : 2,500m ・全体事業費 : 2,920 百万円 ・用地取得済み箇所については、堤防整備完了。 ・上記のうち、助成事業については、久慈川緊急治水対策プロジェクト（国）で対策を実施中であり、令和8年度までに整備予定。 R 5 年度まで : 工事、用地買収等 (R 4 補正含む) 事業費 2,488 百万円 進捗率 85.2% R 6 年度 : 工事、測量・設計等 (R 5 補正含む) 事業費 196 百万円 進捗率 91.9% R 7 年度 : 工事、測量・設計等 (R 6 補正含む) 事業費 180 百万円 進捗率 98.1% (概略図) 
今後の対応・課題等	・引き続き、国と連携して整備を進めるとともに、残る区間についても順次、測量・設計に着手する。

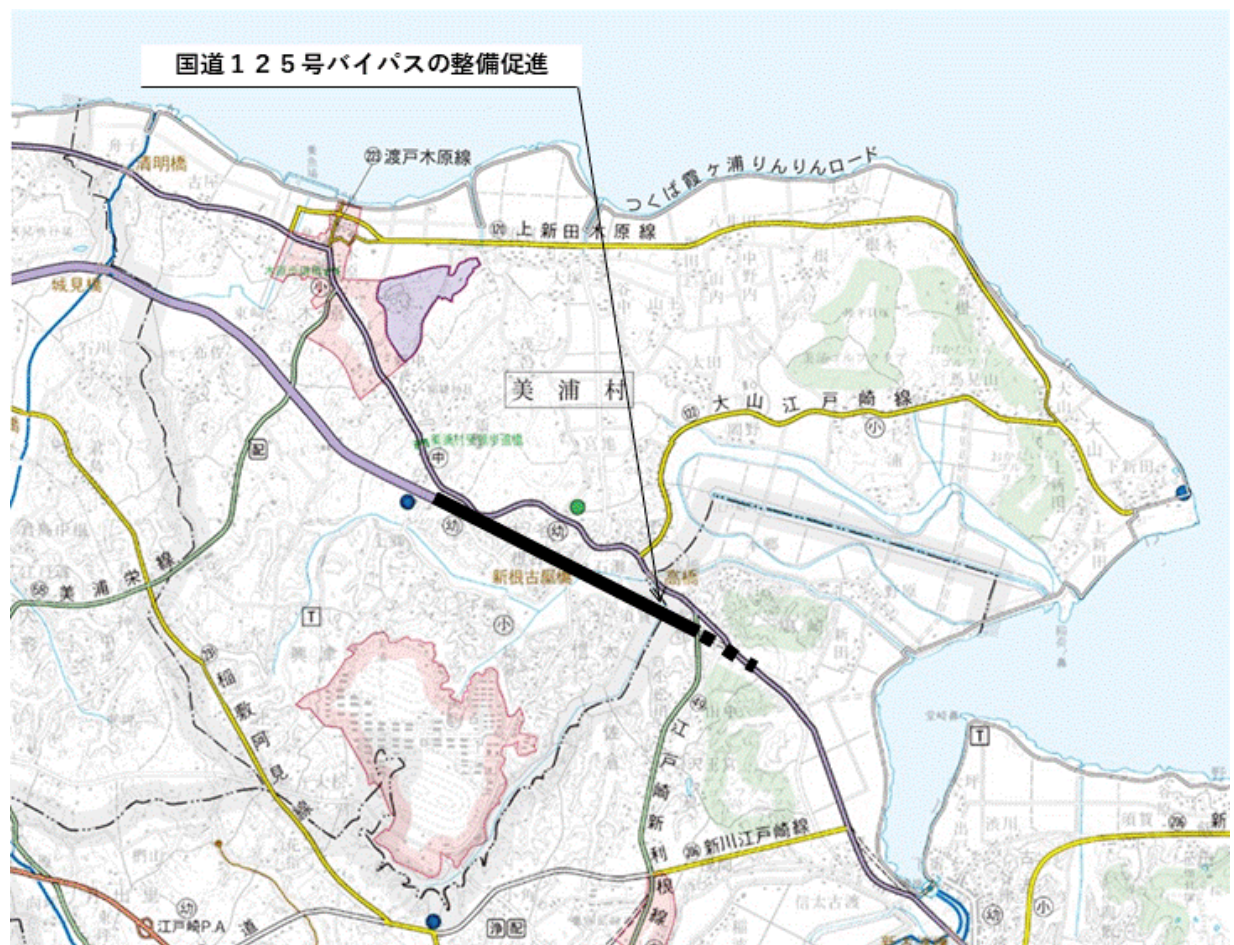
1. 要望事項

国道125号バイパスの整備（美浦村大谷地区）

2. 要望主旨

国道125号は、茨城県南部地域の産業・経済活動及び地域振興を支える広域的幹線道路であるとともに、住民の生活道路としても重要な役割を担っております。しかし、大谷地区につきましては、幅員狭小、線形不良区間による慢性的な渋滞、車両や歩行者通行の危険箇所が存在し、幹線道路に期待される機能が確保できていないという現状であります。茨城県により本路線の早期完成を目指し、整備を推進していただいております。令和4年度までに宮地地区から県道江戸崎新利根線（稲敷市姥神）までの区間が暫定2車線で開通したところです。残区間の早期供用開始と完成4車線での整備促進を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	美浦村
要望事項	国道１２５号バイパスの整備（美浦村大谷地区）
現況	本路線は、県南西部を横断する幹線道路であり、緊急輸送道路に指定されている大変重要な路線である。 しかし、現道部は線形不良及び慢性的な交通渋滞が発生していることから、線形不良箇所の解消や渋滞緩和を図るとともに、災害時における緊急輸送道路としての機能強化を目的として、バイパス整備事業を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道１２５号大谷バイパス ・箇所名： 稲敷市佐倉 ～ 美浦村大谷 ・延長幅員： L=2,600m W=25m（暫定２車線整備） ・事業期間： 平成７年度 ～ ・事業費： 約 71 億円 【進捗状況】 H28：L=380m 供用 H30：L=580m 供用 R 4：L=1,100m 供用 R 5まで 事業費 6,527 百万円（進捗率 91%） 測量、設計、用地取得、埋蔵文化財調査、道路改良舗装工、 橋梁工事 R 6 事業費 185 百万円（進捗率 92%） 用地取得 R 7 事業費 20 百万円（進捗率 94%） 用地取得
今後の対応・課題等	・令和６年度より、（主）江戸崎新利根線より東側の残る 0.5km の用地取得を実施しており、引き続き早期供用開始を目指す。

要 望 書

阿見町長 千葉 繁

1. 要望事項

主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパス（都市計画道路阿見・小池線）の整備促進について

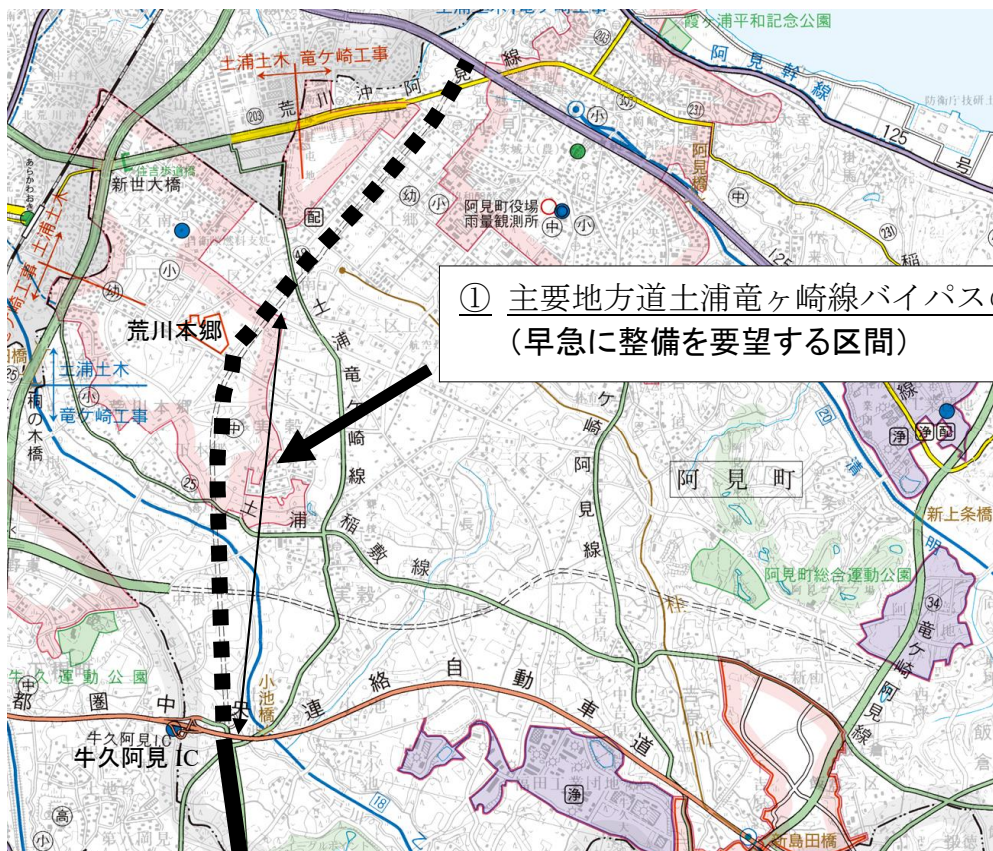
2. 要望主旨

主要地方道土浦竜ヶ崎線は、本町と隣接市を南北に結ぶ重要な路線であり、幅員が狭小であるにもかかわらず、朝夕の通勤時間帯には交通量が多いことから交通事故等の危険性が懸念されることに加え、圏央道が全線開通し、現在進められている 4 車線化により更なる交通量の増加が予想されています。

主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパスは、牛久市から圏央道牛久阿見 IC にアクセスし、国道 125 号バイパスまで南北に結ぶ骨格となる道路であり、現在、圏央道牛久阿見 IC から南側区間が供用開始されています。未整備区間である本町区間沿線のうち圏央道牛久阿見 IC 周辺の地区においては、土地区画整理事業の検討が進められており、また、荒川本郷地内においても民間による住宅開発等の新市街地の形成が進められていることから当該事業促進のためにも本バイパスの早期整備が期待されているところです。

つきましては、広域的な道路ネットワークの構築、安全性の確保、沿線で計画されている新市街地の整備を促進する観点から特に、圏央道牛久阿見 IC から荒川本郷地区内の早急な整備を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	阿見町																			
要望事項	主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパス（都市計画道路阿見・小池線）の整備促進																			
現況	本路線は、土浦市と龍ヶ崎市を結ぶ地域の幹線道路であり、暫定２車線で開通した首都圏中央連絡自動車道の牛久阿見ＩＣへのアクセス道路でもある。 圏央道の４車線化の整備により交通量の増加が見込まれることから、当該箇所の整備により交通の円滑化を図る。																			
対応状況	【概要】 <table border="1"> <tr> <td>地区名</td><td>①主要地方道土浦竜ヶ崎線</td><td>②都市計画道路 阿見小池線</td></tr> <tr> <td>箇所名</td><td>阿見町実穀～牛久市結束町</td><td>阿見町荒川本郷</td></tr> <tr> <td>区分</td><td>道路事業</td><td>街路事業</td></tr> <tr> <td>延長幅員</td><td>L=5,350m W=30～25m（４車線）</td><td>L=1,700m W=30m（４車線）</td></tr> <tr> <td>事業期間</td><td>平成８年度～</td><td>令和７年度～</td></tr> <tr> <td>事業費</td><td>約１０９億円</td><td></td></tr> </table> 【進捗状況】 ① 主要地方道土浦竜ヶ崎線 H18：牛久阿見 IC～現道間 L=400m 国道 408 号～現道交差 L=1,420m 供用（完成 4 車線） H20：牛久市道 7 号線～国道 408 号までの L=910m を供用（暫定 2 車線） H21：現道～牛久市道 7 号線までの L=930m を供用（暫定 2 車線） H30：土浦稲敷線～国道 408 号までの L=3,930m を補助事業化 R 2：国道 408 号～現道までの L=1,840m を供用（完成 4 車線） R 5 まで 事業費 9,794 百万円（進捗率 90%） 用地取得、伐採工事、測量、設計、道路改良舗装工事 R 6 事業費 660 百万円（進捗率 96%） 用地取得、測量、設計、道路改良舗装工事 R 7 事業費 198 百万円（進捗率 98%） 用地取得、測量、設計、道路改良舗装工事 ② 都市計画道路 阿見小池線 R 7 事業費 41 百万円 測量・設計		地区名	①主要地方道土浦竜ヶ崎線	②都市計画道路 阿見小池線	箇所名	阿見町実穀～牛久市結束町	阿見町荒川本郷	区分	道路事業	街路事業	延長幅員	L=5,350m W=30～25m（４車線）	L=1,700m W=30m（４車線）	事業期間	平成８年度～	令和７年度～	事業費	約１０９億円	
地区名	①主要地方道土浦竜ヶ崎線	②都市計画道路 阿見小池線																		
箇所名	阿見町実穀～牛久市結束町	阿見町荒川本郷																		
区分	道路事業	街路事業																		
延長幅員	L=5,350m W=30～25m（４車線）	L=1,700m W=30m（４車線）																		
事業期間	平成８年度～	令和７年度～																		
事業費	約１０９億円																			
今後の対応・課題等	・圏央道 4 車線化の整備進捗を見ながら整備を推進していく。 ・土浦稲敷線バイパスから圏央道牛久阿見 IC までの L=約 1.2km 区間について重点的に整備を進めるとともに、残る区間については、課題解決に向けて阿見町と協力し用地取得を進める。 ・未着手区間については、事業中区間の進捗状況を踏まえ検討していく。																			

要 望 書

河内町長 野澤良治

1 要望事項

主要地方道取手東線生板バイパスの整備促進について
(河内町生板地区：延長2,300m)

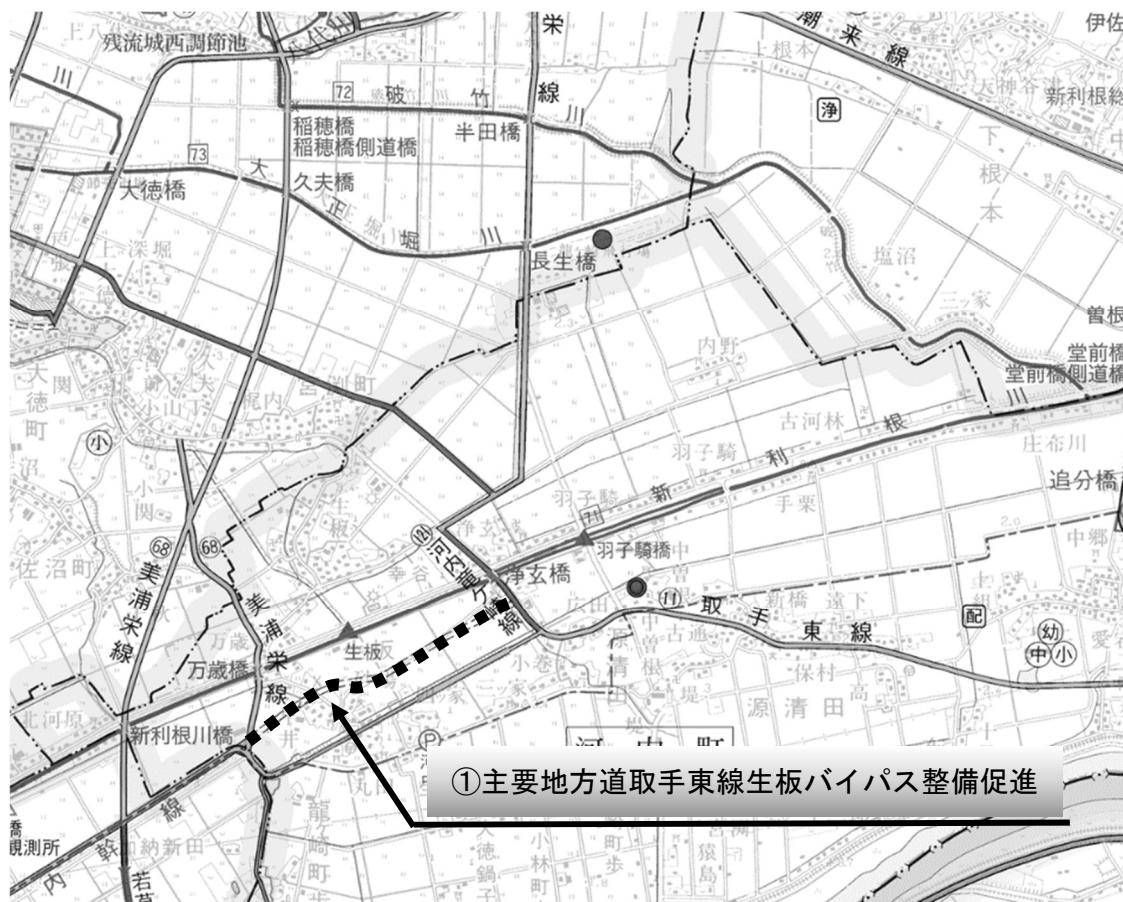
2 要望主旨

当町を東西に横断する主要地方道取手東線は、言わば当町の背骨にあたります。この幹線道路の生板地区は幅員が狭く屈曲していることもあり、車等のすれ違いにも不便をきたしております。

また、美浦栄線バイパスや若草大橋周辺の道路整備の推進により、今後、益々アクセス道路として、交通需要の高まりが予想されます。

県におかれましては、平成25年度から工事着手して頂いているところですが、早期完成に向けた事業推進を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	河内町
要望事項	主要地方道取手東線生板バイパス整備促進
現況	主要地方道取手東線は、河内町を東西に横断する幹線道路だが、生板地区の現道は幅員が非常に狭く屈曲しており、人家連担であることからバイパス整備を実施している。
対応状況	【概要】 ・ 主要地方道取手東線 ・ 箇所名：河内町生板 ・ 延長幅員：L=2,300m W=10m（2車線） ・ 事業期間：平成8年度～ ・ 事業費：約29億円 【進捗状況】 H23：美浦栄線現道との交差点部 L=280m を供用 R 5 まで 事業費 2,379 百万円（進捗率 82%） 地盤改良工、道路改良舗装工 R 6 事業費 80 百万円（進捗率 85%） 地盤改良工、道路改良舗装工 R 7 事業費 75 百万円（進捗率 87%） 道路改良舗装工
今後の対応・課題等	全線供用に向けて、道路改良舗装工事を進めていく。

要 望 書

八千代町長 野村 勇

1 要望事項

国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工について

2 要望主旨

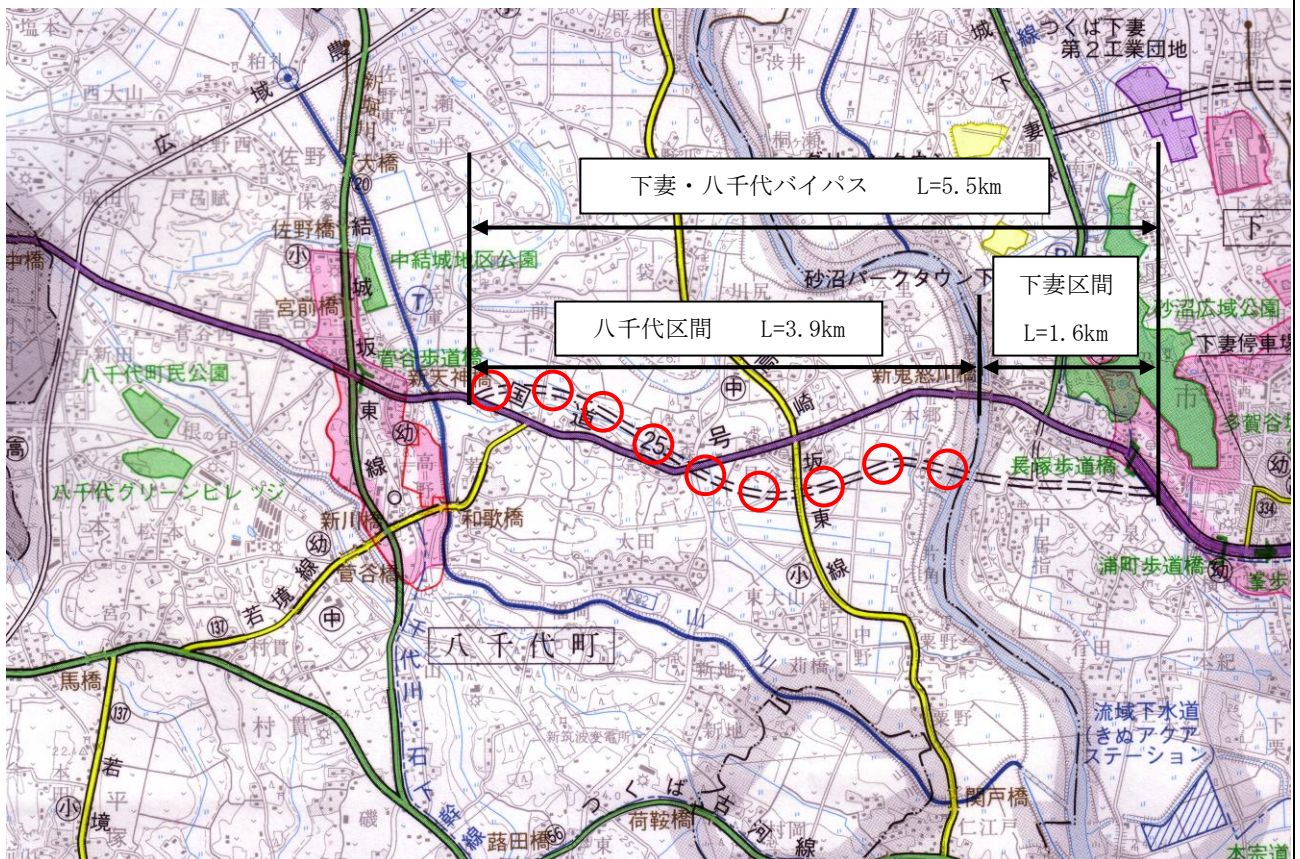
当町は総合計画に基づき、緑につつまれた快適な環境づくりを目指し、対話と協調を基本に町民総参加のまちづくりを推進しております。

交通体系の広域的状況が急速な変化を見せるなか、つくばエクスプレス、圏央道等へのアクセスを容易にする国道125号への幹線道路網の整備を推進しております。そのような中、国道125号の交通量は年々増加の一途をたどり、令和3年度交通量調査では一日当たり22,377台に達しております。なお、道路の幅員も狭く歩道の整備も十分でないため、交通安全対策上大変危険な箇所も多く見受けられます。

以上の状態を早期に解決すべく、国道125号について延長約5.5kmのバイパス整備を推進するため、平成10年12月に都市計画決定しておりますが、20年以上経った現在も、工事着工には至っておりません。

つきましては、円滑な交通体系の整備に向けて、工事の早期着工を要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	八千代町
要望事項	国道１２５号（下妻・八千代バイパス）の早期着工
現況	本路線は、県南・県西地域を東西に結び、物流や観光などの地域の産業や、通勤通学など日常生活を支える重要な幹線道路である。下妻市内及び八千代町内の市街地では交通量が多く、通勤時間帯など、円滑な交通に支障をきたしている状況である。 これまでに現道の２か所において交差点改良事業を進めてきたところであり、現在に関連する畑総事業との協議調整を進めている。
対応状況	【概要】 一般国道１２５号下妻八千代バイパス ・箇所名：下妻市長塚 ～ 八千代町菅谷^{すげのや} ・延長幅員：L=5,500m W=26m（４車線） ・事業期間：未着手 【進捗状況】 R５まで 事業費 134 百万円（県単基礎調査、県単道工調等） 地形図作成、地質調査、中心線測量、予備設計、橋梁予備設計、交通量調査 R６、R７ 県西農林事務所と今泉地区畑地帯総合整備事業との協議調整
今後の対応・課題等	・本バイパスは、鬼怒川を渡河する橋梁の整備など事業費が多額となり、整備期間も長期にわたることが想定されることから、当面の渋滞対策として、現道の貝谷交差点及び砂沼公園入口交差点の改良事業を実施した。 ・貝谷交差点については令和元年９月、砂沼公園入口交差点は令和３年３月にそれぞれ整備が完了したところである。 ・引き続き、畑総事業の進捗に合わせ、道路整備も対応していけるよう農林水産部との協議調整を進めていく。

要 望 書

五霞町長 知久清志

1 要望事項

一般県道西関宿栗橋線の歩道整備について

2 要望主旨

一般県道西関宿栗橋線は、主要地方道境杉戸線（埼玉県幸手市）から国道４号（埼玉県久喜市）までを結ぶ主要な幹線道路であり、路線の大部分が五霞町内の中心部に位置しており、通勤通学に多く利用される重要な路線であります。

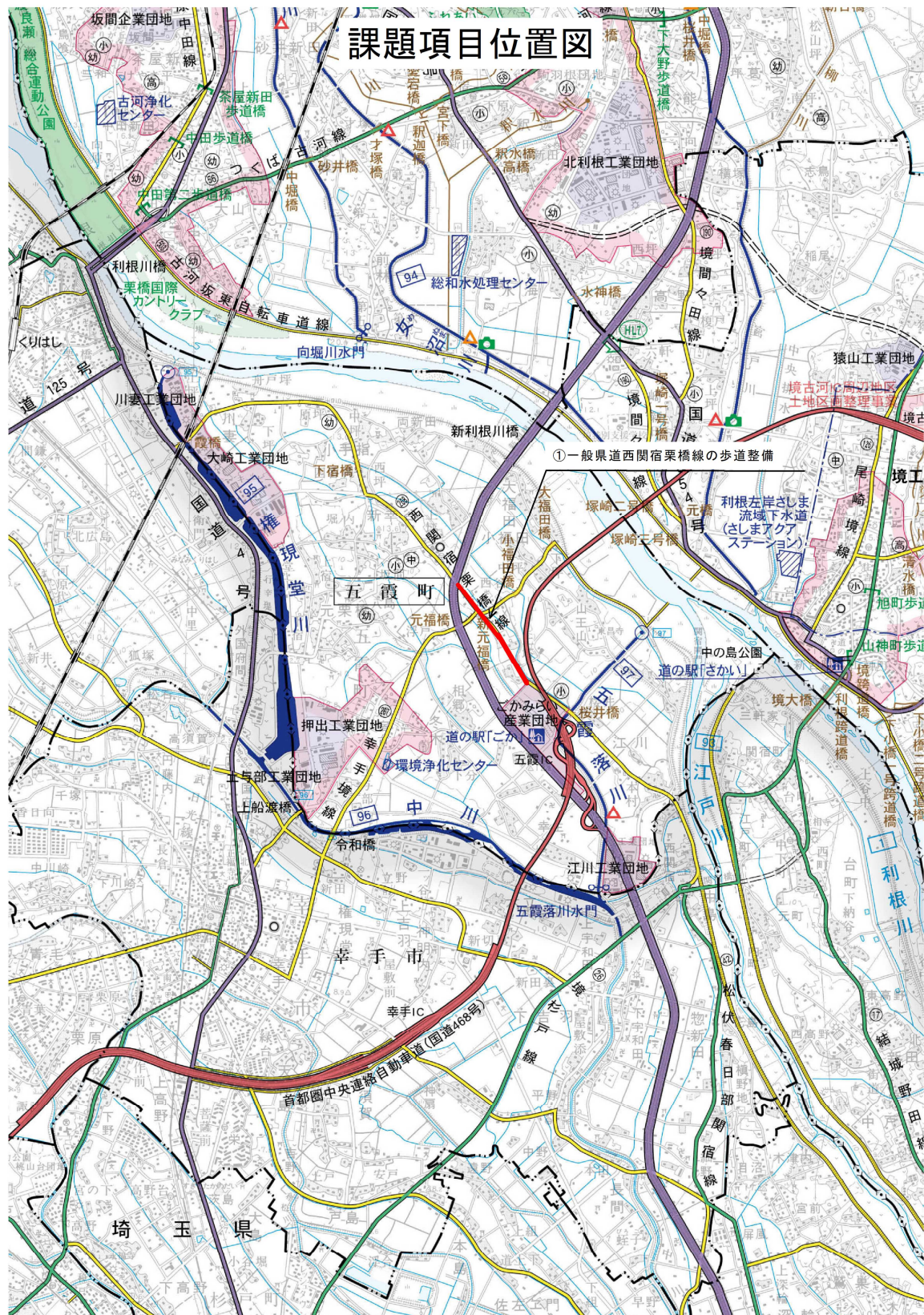
本路線は、新４号国道の五霞交差点から埼玉県久喜市の霞橋までの約４km区間については両側に歩道が整備されておりますが、残りの区間の大部分が片側歩道、もしくは歩道が未整備の状態であったことから、特に歩道が未整備であった小福田地内について、歩道整備を要望させていただき、令和５年度に片側歩道整備が完了したところです。

本路線は、五霞交差点から都市計画道路江川・幸主線の交差点までについて平成３０年２月に大型車両通行規制の一部解除を行ったことや、ごかみらい産業団地の竣工に伴い、大型車の通過も多くなっており、通学する児童・生徒が危険な状況となっております。

そのため、本路線の片側歩道が未整備部分になっている五霞交差点から町道５２号線までの歩道整備を要望させていただいておりましたが、令和６年度より、事業化していただき、関係各所への説明会の実施や現地の測量等を行っていただいているところです。

つきましては、交通の利便性の向上と歩行者等の安全性の確保の観点から、本路線のより一層の整備促進を要望する次第であります。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路維持課

市町村	五霞町
要望事項	一般県道西関宿栗橋線の歩道整備
現況	本路線は、埼玉県幸手市西関宿を起点に、埼玉県久喜市栗橋の国道4号に至る一般県道で、新4号国道が交差しているところから大型車の流入も多い路線である。当該箇所は、通学路に指定されているが、歩道がなく、通学児童と車両との事故の恐れがある。
対応状況	全体計画 延長幅員：L=1,300m W=2.5m 事業期間：平成29年度～ 事業費：400百万円 進捗率：29%（R6末時点） （西側） 延長幅員：L=320m W=2.5m 事業期間：平成29年度～令和5年度（歩道整備完了） 事業費：100百万円 R5まで 事業費100百万円（進捗率100%） 権利者調査、測量設計、用地測量、用地補償、工事 （東側） 延長幅員：L=1,300m W=2.5m 事業期間：令和6年度～ 事業費：300百万円 R6 事業費15百万円（進捗率5%） 路線測量 R7 事業費20百万円（進捗率12%） 詳細設計
今後の対応・課題等	引き続き、事業進捗を図っていく。

要 望 書

境町長 橋 本 正 裕

1 要望事項

国道３５４号「境岩井バイパス」及び「古河境バイパス」の整備促進

2 要望主旨

国道３５４号は連帯機能や交通機能・連結機能を有すると同時に、災害時における第一次緊急輸送道路に指定され、バイパスが整備されることにより、極めて重要な役割を果たす広域幹線道路であります。

当地域は、中核的都市である古河市・つくば市等との広域連携を図ることが各地域の産業活力を高め、地域経済の担い手である企業の活性化、人の交流の活性化など地域集積圏の拡大等に繋がるものであり、先に開通されました首都圏中央連絡自動車道の、五霞インターチェンジや境古河インターチェンジ、坂東インターチェンジと、地方都市間を結ぶ地域高規格道路であります新４号国道との公益交通網を図ることが、極めて大きな効果が期待されることから、本路線の「境岩井バイパス」及び「古河境バイパス」の整備促進をご要望いたします。

3 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	境町	
要望事項	国道３５４号境岩井バイパス及び古河境バイパスの整備促進	
現況	本路線は、県南部・県西部を横断する幹線道路であり、市街地の混雑緩和や高速道路へのアクセス道路として重要な役割を担う道路である。慢性的な交通渋滞が発生している境町市街地の混雑を緩和し、また、圏央道境古河ICや新４号国道へのアクセス機能の確保を図るため、バイパス整備事業を進めている。	
対応状況	【概要】	
	事業名	①一般国道３５４号 境岩井バイパス
	箇所名	境町猿山～坂東市生子
	延長幅員	L=6,300m W=25m（４車線） （暫定２車線整備）
	事業期間	H13年度～
	事業費	約128億円
	②一般国道３５４号 古河境バイパス	
	箇所名	古河市高野 ～ 境町猿山
	延長幅員	L=3,200m W=25m（４車線） （暫定２車線整備）
	事業期間	H30年度～
	事業費	約70億円
	【進捗状況】	
	① 一般国道３５４号 境岩井バイパス	
	H26：L=940m 供用	
	R2：L=800m 供用	
	R5まで 事業費 10,103 百万円（進捗率 79%）	
	路線測量、道路詳細設計、用地測量、用地取得、道路改良舗装工事	
	R6 事業費	1,770 百万円（進捗率 93%）道路改良舗装工事、橋梁工事
	R7 事業費	441 百万円（進捗率 96%）道路改良舗装工事
	② 一般国道３５４号 古河境バイパス	
	R5まで 事業費 1,522 百万円（進捗率 22%）	
	地質調査、道路詳細設計、橋梁詳細設計、用地測量	
	R6 事業費	291 百万円（進捗率 26%）
	用地取得	
	R7 事業費	218 百万円（進捗率 29%）
	用地取得	
今後の対応・課題等	①一般国道３５４号 境岩井バイパス ・これまでに県道結城野田線から町道までの約1.7kmを供用済み。 ・引き続き、残る区間の道路改良舗装工事を進める。 ②一般国道３５４号 古河境バイパス ・引き続き、用地取得を進める。	

要 望 書

利根町長 佐々木 喜 章

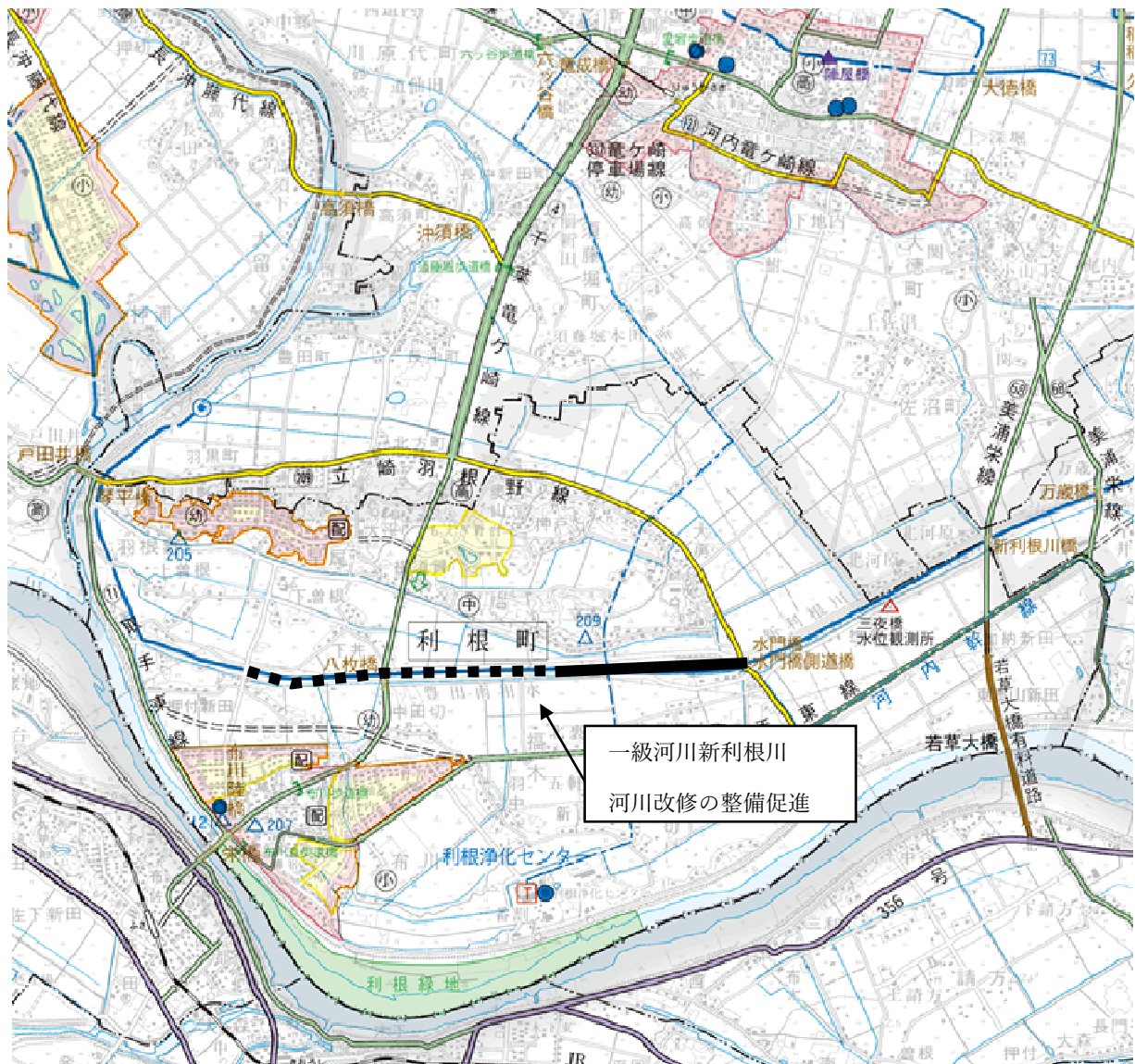
1. 要望事項

一級河川新利根川河川改修の整備促進

2. 要望主旨

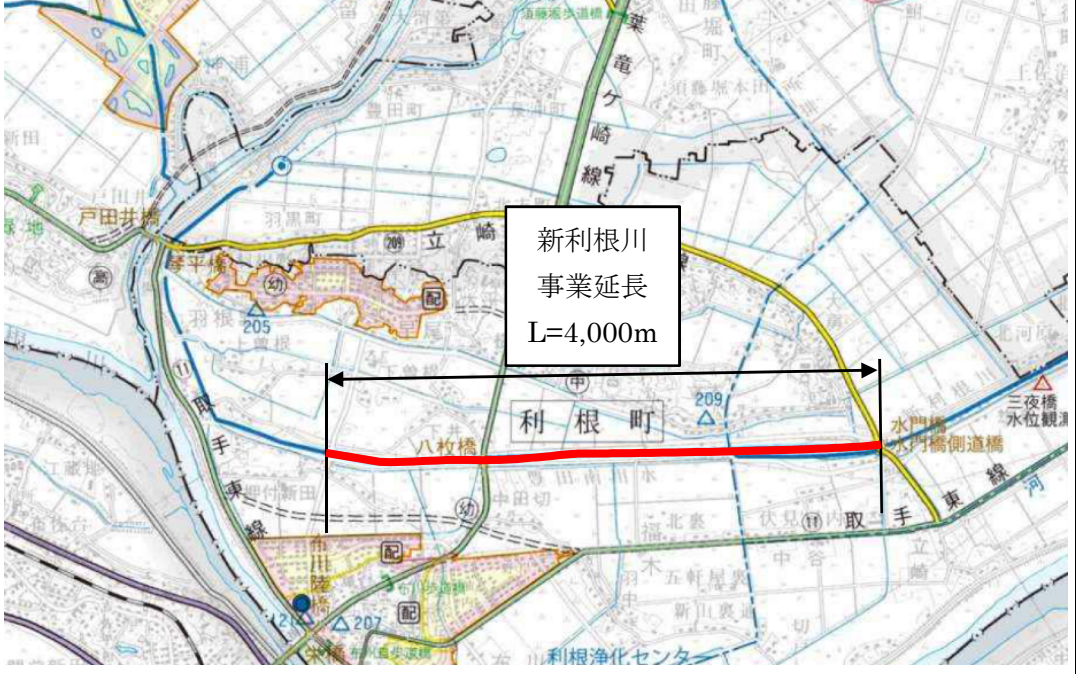
利根町の中央部を東西に横断している新利根川は、町民にとって憩いの原風景であり生活に密接した河川です。しかし現在のところ、大雨による住宅等の冠水被害が発生するなど、住環境及び都市機能が低下している状況にあります。地域住民から排水機能、調節池機能の改善が強く求められております。県におかれましては、継続事業として河道改修工事等が実施されましたが、依然被害が解消されておられませんので、雨水排水の流末である新利根川河川改修及び調節池機能の強化についての早期整備を要望いたします。

3. 位置図



市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	利根町
要望事項	一級河川新利根川河川改修の整備促進
現況	新利根川は、県道立崎羽根野線水門橋から市道学校橋までの4,000mにおいて調節池整備を進めている。
対応状況	・事業延長 : 27,000m (うち調節池部 4,000m) ・全体事業費 : 14,075 百万円 (うち調節池部 2,400 百万円) ・平成5年度に利根町の市街化に対処するため調節池の整備に着手。 ・令和2年度末までに、第1池の整備が完了し、第2池についても暫定整備完了。 R5年度まで : 工事、用地取得、調査等 事業費 3,692 百万円 進捗率 26.2% R6年度 : 測量 (R5補正含む) 事業費 30 百万円 進捗率 26.4% R7年度 : 用地取得 (R6補正含む) 事業費 30 百万円 進捗率 26.7% (概略図) 
今後の対応・課題等	・調節池の整備に向けた用地取得を進めていく。